

平成27年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月10日

上場会社名 株式会社福岡ファイナンシャルグループ 上場取引所 東・福
 コード番号 8354 URL <http://www.fukuoka-fg.com/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 柴戸 隆成
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 田上 裕二 (TEL) 092(723)2502
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月21日 配当支払開始予定日 平成26年12月10日
 特定取引勘定設置の有無 有
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(平成26年4月1日~平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績 (%表示は、対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期中間期	114,196	8.5	33,747	1.4	21,951	7.4
26年3月期中間期	124,811	1.8	33,278	13.2	23,714	19.6

(注) 包括利益 27年3月期中間期 33,153百万円(75.7%) 26年3月期中間期 18,871百万円(38.4%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期中間期	25.40	
26年3月期中間期	27.45	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期中間期	14,833,558	744,454	4.8
26年3月期	14,125,998	745,778	4.9

(参考) 自己資本 27年3月期中間期 713,168百万円 26年3月期 695,111百万円

(注) 「自己資本比率」は、((中間)期末純資産の部合計 - (中間)期末少数株主持分)を(中間)期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期		5.50		6.50	12.00
27年3月期		6.00			
27年3月期(予想)				6.00	12.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日~平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	59,500	4.3	36,000	0.5	41.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当中間期における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
以外の会計方針の変更： 無
会計上の見積りの変更： 無
修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）

期末自己株式数

期中平均株式数（中間期）

27年3月期中間期	859,761,868株	26年3月期	859,761,868株
27年3月期中間期	800,225株	26年3月期	775,569株
27年3月期中間期	858,973,724株	26年3月期中間期	859,021,916株

中間監査手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく中間監査手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく中間連結財務諸表及び中間財務諸表の中間監査手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当社は、特定事業会社（企業内容等の開示に関する内閣府令第17条の15第2項に規定する事業を行う会社）に該当するため、第2四半期会計期間については、中間連結財務諸表を作成していません。
・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
・当社は、以下のとおり会社説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料等については、開催後当社ホームページに掲載する予定です。
平成26年11月12日（水）・・・機関投資家・アナリスト向け会社説明会

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る 1 株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

第一種優先株式	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年 3 月期		7.00		7.00	14.00
27年 3 月期		7.00			
27年 3 月期(予想)				7.00	14.00

添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	P 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P 2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P 3
(1) 当中間期における重要な子会社の異動	P 3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P 3
3. 中間連結財務諸表	P 4
(1) 中間連結貸借対照表	P 4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	P 6
(3) 中間連結株主資本等変動計算書	P 8
(4) 継続企業の前提に関する注記	P 10
(5) セグメント情報等	P 10
(6) 重要な後発事象	P 10
4. (参考) 主要な連結子会社の業績の概況	P 11
(1) 個別業績の概要(株式会社 福岡銀行)	P 11
(2) 個別業績の概要(株式会社 熊本銀行)	P 14
(3) 個別業績の概要(株式会社 親和銀行)	P 17
5. 補足情報：平成26年度中間期決算説明資料	別添

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当中間期の我が国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動が幾分和らぎ、雇用・所得環境が着実に改善するなか、設備投資も増加傾向となるなど、緩やかな景気回復基調が続きました。一方で、企業の業況判断が慎重になるなど先行きに対する不透明感も出始めています。

金融面では、米国長期金利が上昇し、日米の金利差が拡大したことから、8月中旬以降110円目前まで一気に円安が進行し、日経平均株価は一時1万6千円台を回復する動きを見せました。一方、長期金利の指標となる10年物国債の利回りは、0.5%台と依然低位で推移しております。

このような経済環境のもと、当社グループは、平成25年度からスタートさせた第四次中期経営計画「ABCプラン」において、「九州全域で確固たる支持を獲得する総合金融グループ」を目指し、4つの基本方針「お客様とのリレーション深化」、「営業生産性の向上」、「グループ総合力の強化」及び「FFGブランドの磨き上げ(あなたのいちばんに。)」に基づき、「お客様起点」で各種施策に取り組んでおります。

当中間期の主要損益につきましては、連結経常収益は、貸出金利息が利回りの低下により減少したほか、前中間期に計上した投資信託解約益の剥落や国債等債券売却益の減少等により、前中間期比106億1千5百万円減少し、1,141億9千6百万円となりました。連結経常費用は、貸倒引当金の取崩額が繰入額を上回り取崩益となり、貸倒引当金繰入額を計上しなかったこと等により、前中間期比110億8千4百万円減少し、804億4千9百万円となりました。

この結果、連結経常利益は、前中間期比4億6千9百万円増加し、337億4千7百万円となりましたが、連結中間純利益は、前中間期比17億6千3百万円減少し、219億5千1百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当中間期末の主要勘定残高は、以下のとおりとなりました。

総資金(預金+譲渡性預金)

総資金は、公金を中心とした法人部門の減少を個人部門の積上げでカバーしたことに加え、譲渡性預金が増加したこと等により、前年度末比1,439億円増加し、12兆3,820億円となりました。

貸出金

貸出金は、公金向け貸出が減少しましたが、中小企業向け貸出や住宅ローンが順調に増加した結果、前年度末比1,660億円増加し、9兆7,617億円となりました。

有価証券

有価証券は、安全性と収益性の両面に留意し、健全なポートフォリオの運営に努めてまいりました結果、前年度末比1,670億円増加し、2兆9,792億円となりました。このうち国債は、前年度末比1,872億円増加し、1兆8,793億円となっております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成27年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成26年10月28日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当中間期における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下、「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下、「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当中間連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について退職給付の見込支払日までの平均期間とする方法から退職給付の支払見込期間ごとに設定された複数の割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当中間連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当中間連結会計期間の期首の退職給付に係る資産が12,394百万円減少し、退職給付に係る負債が51百万円減少し、利益剰余金が7,980百万円減少しております。また、当中間連結会計期間の経常利益及び税金等調整前中間純利益はそれぞれ359百万円増加しております。

3. 中間連結財務諸表

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
現金預け金	1,216,149	1,575,736
コールローン及び買入手形	100,000	113,283
買入金銭債権	40,376	45,521
特定取引資産	2,301	2,454
金銭の信託	1,500	2,100
有価証券	2,812,281	2,979,298
貸出金	9,595,748	9,761,784
外国為替	8,150	9,133
その他資産	48,323	51,462
有形固定資産	191,403	190,969
無形固定資産	133,058	127,975
退職給付に係る資産	30,102	20,699
繰延税金資産	46,283	40,128
支払承諾見返	57,899	62,381
貸倒引当金	157,579	149,371
資産の部合計	14,125,998	14,833,558
負債の部		
預金	11,769,282	11,698,202
譲渡性預金	468,881	683,872
コールマネー及び売渡手形	8,233	656
売現先勘定	30,876	32,835
債券貸借取引受入担保金	136,990	369,967
特定取引負債	-	0
借入金	666,765	1,012,891
外国為替	920	1,179
短期社債	5,000	5,000
社債	117,500	97,500
その他負債	83,744	91,518
退職給付に係る負債	999	956
利息返還損失引当金	1,032	1,017
睡眠預金払戻損失引当金	4,833	4,103
その他の偶発損失引当金	279	249
特別法上の引当金	19	19
再評価に係る繰延税金負債	26,961	26,751
支払承諾	57,899	62,381
負債の部合計	13,380,219	14,089,104

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
資本金	124,799	124,799
資本剰余金	103,611	103,611
利益剰余金	355,960	364,559
自己株式	265	277
株主資本合計	584,104	592,692
その他有価証券評価差額金	68,075	77,261
繰延ヘッジ損益	7,160	6,738
土地再評価差額金	48,295	47,952
退職給付に係る調整累計額	1,797	2,001
その他の包括利益累計額合計	111,006	120,476
少数株主持分	50,667	31,285
純資産の部合計	745,778	744,454
負債及び純資産の部合計	14,125,998	14,833,558

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
経常収益	124,811	114,196
資金運用収益	88,410	82,221
(うち貸出金利息)	69,537	67,348
(うち有価証券利息配当金)	17,090	13,768
役務取引等収益	21,597	22,146
特定取引収益	141	132
その他業務収益	9,777	4,370
その他経常収益	4,883	5,324
経常費用	91,533	80,449
資金調達費用	10,526	8,249
(うち預金利息)	3,444	3,410
役務取引等費用	7,965	8,236
その他業務費用	225	5
営業経費	63,971	62,030
その他経常費用	8,844	1,927
経常利益	33,278	33,747
特別利益	58	2
固定資産処分益	53	2
金融商品取引責任準備金取崩額	4	0
特別損失	295	1,033
固定資産処分損	177	389
減損損失	118	643
税金等調整前中間純利益	33,040	32,715
法人税、住民税及び事業税	3,230	3,843
法人税等調整額	4,301	5,536
法人税等合計	7,531	9,380
少数株主損益調整前中間純利益	25,508	23,335
少数株主利益	1,794	1,383
中間純利益	23,714	21,951

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前中間純利益	25,508	23,335
その他の包括利益	6,637	9,818
その他有価証券評価差額金	14,205	9,191
繰延ヘッジ損益	7,567	422
退職給付に係る調整額		204
中間包括利益	18,871	33,153
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	17,078	31,764
少数株主に係る中間包括利益	1,792	1,389

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	124,799	103,611	329,707	245	557,872
当中間期変動額					
剰余金の配当			5,285		5,285
中間純利益			23,714		23,714
自己株式の取得				9	9
自己株式の処分		0		0	0
土地再評価差額金の取崩			79		79
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計		0	18,508	8	18,499
当中間期末残高	124,799	103,611	348,215	254	576,372

	その他の包括利益累計額					少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	86,398	18,006	48,496		116,887	79,522	754,283
当中間期変動額							
剰余金の配当							5,285
中間純利益							23,714
自己株式の取得							9
自己株式の処分							0
土地再評価差額金の取崩							79
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	14,203	7,567	79		6,714	548	6,166
当中間期変動額合計	14,203	7,567	79		6,714	548	12,332
当中間期末残高	72,194	10,439	48,417		110,173	80,070	766,616

当中間連結会計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	124,799	103,611	355,960	265	584,104
会計方針の変更による 累積的影響額			7,980		7,980
会計方針の変更を 反映した当期首残高	124,799	103,611	347,979	265	576,124
当中間期変動額					
剰余金の配当			5,714		5,714
中間純利益			21,951		21,951
自己株式の取得				12	12
自己株式の処分		0		0	0
土地再評価差額金の 取崩			342		342
株主資本以外の 項目の当中間期 変動額(純額)					
当中間期変動額合計		0	16,579	12	16,567
当中間期末残高	124,799	103,611	364,559	277	592,692

	その他の包括利益累計額					少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価 差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	68,075	7,160	48,295	1,797	111,006	50,667	745,778
会計方針の変更による 累積的影響額							7,980
会計方針の変更を 反映した当期首残高	68,075	7,160	48,295	1,797	111,006	50,667	737,798
当中間期変動額							
剰余金の配当							5,714
中間純利益							21,951
自己株式の取得							12
自己株式の処分							0
土地再評価差額金の 取崩							342
株主資本以外の 項目の当中間期 変動額(純額)	9,185	422	342	204	9,469	19,381	9,912
当中間期変動額合計	9,185	422	342	204	9,469	19,381	6,655
当中間期末残高	77,261	6,738	47,952	2,001	120,476	31,285	744,454

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社グループは、銀行業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. (参考) 主要な連結子会社の業績の概況

(1) 個別業績の概要(株式会社 福岡銀行)

(百万円未満切捨て)

平成27年3月期第2四半期(中間期)の個別業績(平成26年4月1日~平成26年9月30日)

1) 経営成績 (%表示は、対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期中間期	80,836	11.6	30,990	16.2	20,830	23.7
26年3月期中間期	91,409	1.8	36,982	29.9	27,306	67.6

2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
27年3月期中間期	10,717,920		528,740		4.9	
26年3月期	10,149,334		514,694		5.0	

(参考) 自己資本 27年3月期中間期 528,740百万円 26年3月期 514,694百万円

(注) 「自己資本比率」は、(中間)期末純資産の部合計を(中間)期末資産の部合計で除して算出しております。
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

中間貸借対照表

株式会社 福岡銀行
(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当中間会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
現金預け金	823,582	1,037,751
コールローン	100,000	113,283
買入金銭債権	33,424	32,412
特定取引資産	1,983	2,042
有価証券	1,773,494	1,944,896
貸出金	7,245,273	7,410,919
外国為替	5,509	6,969
その他資産	32,467	37,413
有形固定資産	146,919	146,530
無形固定資産	7,880	7,915
前払年金費用	17,778	10,731
繰延税金資産	19,823	17,006
支払承諾見返	45,382	49,172
貸倒引当金	104,183	99,125
資産の部合計	10,149,334	10,717,920
負債の部		
預金	8,424,478	8,344,436
譲渡性預金	303,343	464,133
コールマネー	40,827	27,215
売現先勘定	30,876	32,835
債券貸借取引受入担保金	136,990	369,967
特定取引負債	-	0
借入金	486,741	734,572
外国為替	812	1,145
社債	67,500	67,500
その他負債	65,359	66,697
利息返還損失引当金	939	932
睡眠預金払戻損失引当金	4,204	3,631
その他の偶発損失引当金	221	188
再評価に係る繰延税金負債	26,961	26,751
支払承諾	45,382	49,172
負債の部合計	9,634,640	10,189,179
純資産の部		
資本金	82,329	82,329
資本剰余金	60,480	60,480
利益剰余金	279,367	286,304
株主資本合計	422,177	429,115
その他有価証券評価差額金	51,382	58,411
繰延ヘッジ損益	7,160	6,738
土地再評価差額金	48,295	47,952
評価・換算差額等合計	92,516	99,625
純資産の部合計	514,694	528,740
負債及び純資産の部合計	10,149,334	10,717,920

中間損益計算書

株式会社 福岡銀行
(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 平成25年 4月 1日 至 平成25年 9月30日)	当中間会計期間 (自 平成26年 4月 1日 至 平成26年 9月30日)
経常収益	91,409	80,836
資金運用収益	65,321	60,098
(うち貸出金利息)	49,699	48,557
(うち有価証券利息配当金)	14,013	10,715
役務取引等収益	15,369	15,610
特定取引収益	57	65
その他業務収益	6,705	1,222
その他経常収益	3,955	3,838
経常費用	54,426	49,845
資金調達費用	9,545	6,789
(うち預金利息)	2,182	2,167
役務取引等費用	7,864	8,113
その他業務費用	103	0
営業経費	34,890	33,838
その他経常費用	2,024	1,103
経常利益	36,982	30,990
特別利益	5	-
固定資産処分益	5	-
特別損失	165	954
固定資産処分損	130	334
減損損失	34	620
税引前中間純利益	36,822	30,035
法人税、住民税及び事業税	6,408	6,951
法人税等調整額	3,107	2,254
法人税等合計	9,515	9,205
中間純利益	27,306	20,830

(2) 個別業績の概要(株式会社 熊本銀行)

(百万円未満切捨て)

平成27年3月期第2四半期(中間期)の個別業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

1) 経営成績

(%表示は、対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期中間期	12,803	3.3	3,308		5,191	191.5
26年3月期中間期	12,397	6.7	563		1,781	54.9

2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期中間期	1,543,431	81,565	5.2
26年3月期	1,476,795	82,445	5.5

(参考) 自己資本 27年3月期中間期 81,565百万円 26年3月期 82,445百万円

(注) 「自己資本比率」は、(中間)期末純資産の部合計を(中間)期末資産の部合計で除して算出しております。
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

中間貸借対照表

株式会社 熊本銀行
(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当中間会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
現金預け金	136,534	175,699
コールローン	12,502	10,974
有価証券	269,561	282,850
貸出金	1,029,805	1,049,980
外国為替	1,148	1,160
その他資産	7,994	4,699
有形固定資産	17,465	17,478
無形固定資産	603	682
前払年金費用	4,357	2,893
繰延税金資産	8,735	8,729
支払承諾見返	4,959	4,640
貸倒引当金	16,872	16,359
資産の部合計	1,476,795	1,543,431
負債の部		
預金	1,223,569	1,254,137
譲渡性預金	96,961	97,723
借入金	62,934	98,806
外国為替	14	10
その他負債	4,074	4,774
睡眠預金払戻損失引当金	214	151
再評価に係る繰延税金負債	1,622	1,622
支払承諾	4,959	4,640
負債の部合計	1,394,349	1,461,865
純資産の部		
資本金	33,847	33,847
資本剰余金	33,847	33,847
利益剰余金	10,091	8,850
株主資本合計	77,785	76,544
その他有価証券評価差額金	3,962	4,323
土地再評価差額金	696	696
評価・換算差額等合計	4,659	5,020
純資産の部合計	82,445	81,565
負債及び純資産の部合計	1,476,795	1,543,431

中間損益計算書

株式会社 熊本銀行

(単位:百万円)

	前中間会計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当中間会計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
経常収益	12,397	12,803
資金運用収益	9,976	9,761
(うち貸出金利息)	8,825	8,592
(うち有価証券利息配当金)	1,028	1,050
役務取引等収益	2,070	2,309
その他業務収益	229	161
その他経常収益	121	571
経常費用	12,960	9,495
資金調達費用	645	640
(うち預金利息)	581	510
役務取引等費用	1,285	1,366
その他業務費用	0	3
営業経費	8,150	7,205
その他経常費用	2,879	279
経常利益又は経常損失()	563	3,308
特別利益	0	0
固定資産処分益	0	0
特別損失	99	34
固定資産処分損	3	23
減損損失	95	10
税引前中間純利益又は税引前中間純損失()	662	3,274
法人税、住民税及び事業税	2,820	2,325
法人税等調整額	376	408
法人税等合計	2,443	1,916
中間純利益	1,781	5,191

(3) 個別業績の概要(株式会社 親和銀行)

(百万円未満切捨て)

平成27年3月期第2四半期(中間期)の個別業績(平成26年4月1日~平成26年9月30日)

1) 経営成績

(%表示は、対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期中間期	18,520	1.1	4,546	105.4	3,095	59.5
26年3月期中間期	18,728	0.3	2,213	42.3	1,940	40.2

2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
27年3月期中間期	2,591,852		127,364		4.9	
26年3月期	2,519,836		133,752		5.3	

(参考) 自己資本 27年3月期中間期 127,364百万円 26年3月期 133,752百万円

(注) 「自己資本比率」は、(中間)期末純資産の部合計を(中間)期末資産の部合計で除して算出しております。
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

中間貸借対照表

株式会社 親和銀行
(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当中間会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
現金預け金	258,127	364,460
コールローン	20,091	15,583
商品有価証券	209	258
有価証券	772,293	754,874
貸出金	1,409,821	1,400,127
外国為替	1,492	1,003
その他資産	7,081	6,454
有形固定資産	44,877	44,825
無形固定資産	1,851	1,242
前払年金費用	5,348	4,062
繰延税金資産	15,339	11,969
支払承諾見返	7,373	8,413
貸倒引当金	24,072	21,423
資産の部合計	2,519,836	2,591,852
負債の部		
預金	2,140,983	2,122,454
譲渡性預金	89,275	142,715
借入金	136,851	178,231
外国為替	93	24
その他負債	5,717	6,953
睡眠預金払戻損失引当金	414	320
その他の偶発損失引当金	58	61
再評価に係る繰延税金負債	5,315	5,311
支払承諾	7,373	8,413
負債の部合計	2,386,083	2,464,487
純資産の部		
資本金	36,878	36,878
資本剰余金	36,878	36,878
利益剰余金	32,647	24,056
株主資本合計	106,403	97,812
その他有価証券評価差額金	12,828	15,025
土地再評価差額金	14,521	14,526
評価・換算差額等合計	27,349	29,551
純資産の部合計	133,752	127,364
負債及び純資産の部合計	2,519,836	2,591,852

中間損益計算書


株式会社 親和銀行
 (単位:百万円)

	前中間会計期間 (自 平成25年 4月 1日 至 平成25年 9月30日)	当中間会計期間 (自 平成26年 4月 1日 至 平成26年 9月30日)
経常収益	18,728	18,520
資金運用収益	14,102	13,378
(うち貸出金利息)	11,165	10,392
(うち有価証券利息配当金)	2,801	2,764
役務取引等収益	3,434	3,680
その他業務収益	557	241
その他経常収益	633	1,220
経常費用	16,514	13,974
資金調達費用	875	965
(うち預金利息)	683	733
役務取引等費用	1,545	1,663
その他業務費用	122	18
営業経費	10,790	10,921
その他経常費用	3,180	406
経常利益	2,213	4,546
特別利益	17	1
固定資産処分益	17	1
特別損失	74	44
固定資産処分損	35	27
減損損失	39	16
税引前中間純利益	2,156	4,504
法人税、住民税及び事業税	807	1,408
法人税等調整額	1,023	2,817
法人税等合計	216	1,409
中間純利益	1,940	3,095

平成26年度中間期決算説明資料

平成26年11月10日

あなたのいちばんに。

 **福岡フィナンシャルグループ**



 福岡銀行



 熊本銀行



 親和銀行

【 目 次 】

I 決算ダイジェスト

ページ

1 損益の状況		
(1) 業績サマリー	2~4
(2) コア業務純益	5
(3) 経費の状況	5
(4) 信用コストの状況	6
(5) 臨時損益等(信用コスト除く)及び特別損益の状況	6
2 資産・負債等の状況		
(1) 貸出金の状況	7
(2) 預金の状況	8
(3) 資産運用商品の状況	9
(4) 時価のあるその他有価証券の評価差額	10
3 金融再生法開示債権の状況	11
4 自己資本の状況	11
5 業績等予想	12

II 決算の概況

1 損益の状況	13~16
2 業務純益	17
3 資金平残・利鞘	18
4 資金平残・利鞘(国内部門)	19
5 自己資本比率	20~22
6 繰延税金資産	22
7 ROE	23
8 ROA	23
9 役職員数	24
10 拠点数	25

III 貸出金等の状況

1 リスク管理債権(銀行法ベース)の状況	26
2 貸倒引当金の状況	27
3 リスク管理債権に対する保全状況	28
4 金融再生法開示債権の状況	29
5 金融再生法開示債権の保全状況	30~32
6 子銀行における自己査定状況	33~35
7 業種別貸出金状況等	36
8 不良債権のオフバランス化実績	37~38
9 中小企業等貸出金残高・比率	39

決算ダイジェスト

1 損益の状況

(1) 業績サマリー

	3行単体合算			FFG連結		
	26年度 中間期	前中間期比	25年度 中間期	26年度 中間期	前中間期比	25年度 中間期
業務粗利益	86,970	△8,869	95,839	92,380	△8,830	101,210
資金利益	74,843	△3,492	78,335	73,972	△3,912	77,884
役務取引等利益	10,457	278	10,179	13,910	278	13,632
特定取引利益	65	8	57	132	△9	141
その他業務利益	1,603	△5,663	7,266	4,365	△5,187	9,552
うち国債等債券損益	227	△4,715	4,942	611	△4,333	4,944
経費 (除く臨時処理分) △	51,229	128	51,101	61,372	208	61,164
実質業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)	35,741	△8,996	44,737	31,008	△9,037	40,045
① 一般貸倒引当金繰入額 △	…[△4,371] -	△10,497	10,497	…[△4,452] -	△10,406	10,406
業務純益	35,741	1,502	34,239	31,008	1,370	29,638
コア業務純益	35,513	△4,281	39,794	30,397	△4,704	35,101
臨時損益等	3,104	△1,289	4,393	2,739	△900	3,639
② 不良債権処理額 △	△4,740	449	△5,189	△4,166	375	△4,541
うち個別貸倒引当金繰入額 △	…[277] -	3,454	△3,454	…[940] -	2,683	△2,683
うち償却債権取立益	933	△600	1,533	933	△600	1,533
うち貸倒引当金戻入益	…▶ 4,093	4,093	-	…▶ 3,511	3,511	-
信用コスト (①+②) △	△4,740	△10,047	5,307	△4,166	△10,031	5,865
株式等関係損益	106	△1,813	1,919	448	△1,840	2,288
その他臨時損益等	△1,742	974	△2,716	△1,875	1,315	△3,190
経常利益	38,845	213	38,632	33,747	469	33,278
特別損益	△1,030	△713	△317	△1,031	△794	△237
税引前中間純利益	37,814	△501	38,315	32,715	△325	33,040
法人税等合計 △	8,698	1,410	7,288	9,380	1,849	7,531
少数株主利益 △	-	-	-	1,383	△411	1,794
中間純利益	29,116	△1,911	31,027	21,951	△1,763	23,714

以下は子銀行(P3~P4)も同様であります。

(注1)記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

(注2)コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益

(注3)26年度中間期において、一般貸倒引当金繰入額と個別貸倒引当金繰入額の合計額が取崩超過となりましたので、取崩超過額を「臨時損益等」の「うち貸倒引当金戻入益」に計上しております。なお、[]内は相殺前の金額であります。

■業績サマリー

コア業務純益 (3行単体合算) 355億円 (前中間期比▲43億円)

- 3行単体合算のコア業務純益は、前年度計上した投信解約益・ファンド配当の反動減(▲30)等による資金利益の減少を主因に、前中間期比▲43億円減少し、355億円となりました。

連結経常利益 337億円 (前中間期比+5億円)

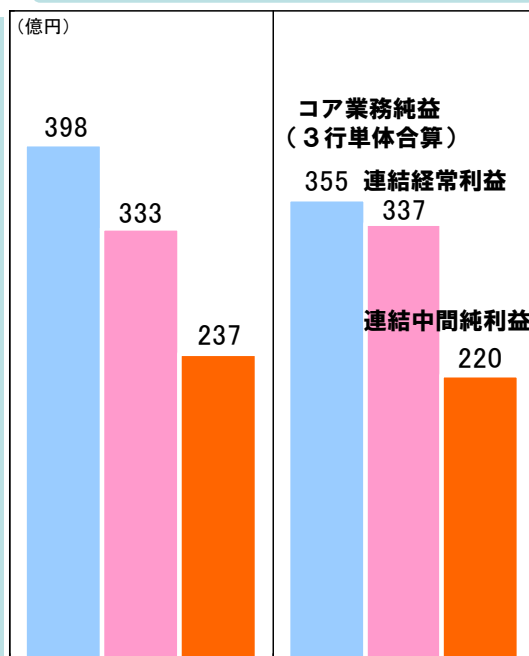
- コア業務純益(前中間期比▲43)と国債等債券損益(前年度計上した売却益等の反動減▲47)は減少したものの、信用コストが▲47億円の戻り益(前中間期比+100)となったことから、連結経常利益は、前中間期比+5億円増加し、337億円となりました。

[3年連続過去最高益]

連結中間純利益 220億円 (前中間期比▲18億円)

- 連結中間純利益は、特別損失や法人税等の増加等により、前中間期比▲18億円減少し、220億円となりました。

損益推移



25/上



26/上

福岡銀行単体

(単位: 百万円)

	26年度中間期	25年度中間期	前中間期比
業務粗利益	62,094	69,941	△7,847
資金利益	53,309	55,776	△2,467
国内部門	50,029	53,008	△2,979
国際部門	3,279	2,768	511
役務取引等利益	7,497	7,505	△8
特定取引利益	65	57	8
その他業務利益	1,221	6,602	△5,381
うち国債等債券損益	159	4,845	△4,686
うち外為売買損益	741	1,058	△317
経費 (除く臨時処理分)	△ 33,408	32,967	441
実質業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)	28,685	36,973	△8,288
① 一般貸倒引当金繰入額	△ … [△3,637] -	5,675	△5,675
業務純益	28,685	31,298	△2,613
コア業務純益	28,526	32,128	△3,602
臨時損益等	2,304	5,684	△3,380
② 不良債権処理額	△ 3,144	△5,866	2,722
うち個別貸倒引当金繰入額	△ … [885] -	△4,322	4,322
うち償却債権取立益	618	1,302	△684
うち貸倒引当金戻入益	2,752	-	2,752
信用コスト(①+②)	△ 3,144	△ 191	△2,953
株式等関係損益	118	1,933	△1,815
その他臨時損益等	△958	△2,116	1,158
経常利益	30,990	36,982	△5,992
特別損益	△954	△160	△794
税引前中間純利益	30,035	36,822	△6,787
法人税等合計	△ 9,205	9,515	△310
中間純利益	20,830	27,306	△6,476

熊本銀行単体

(単位: 百万円)

	26年度中間期	25年度中間期	前中間期比
業務粗利益	10,222	10,346	△124
資金利益	9,121	9,331	△210
国内部門	9,108	9,372	△264
国際部門	12	△41	53
役務取引等利益	942	785	157
その他業務利益	157	228	△71
うち国債等債券損益	21	△0	21
うち外為売買損益	121	213	△92
経費 (除く臨時処理分)	△ 6,958	7,433	△475
実質業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)	3,263	2,912	351
① 一般貸倒引当金繰入額	△ … [△662] -	2,544	△2,544
業務純益	3,263	368	2,895
コア業務純益	3,241	2,913	328
臨時損益等	44	△931	975
② 不良債権処理額	△ 484	97	△581
うち個別貸倒引当金繰入額	△ … [333] -	168	△168
うち償却債権取立益	185	96	89
うち貸倒引当金戻入益	328	-	328
信用コスト(①+②)	△ 484	2,642	△3,126
株式等関係損益	△13	△5	△8
その他臨時損益等	△425	△828	403
経常利益	3,308	△563	3,871
特別損益	△34	△99	65
税引前中間純利益	3,274	△662	3,936
法人税等合計	△ 1,916	△2,443	527
中間純利益	5,191	1,781	3,410

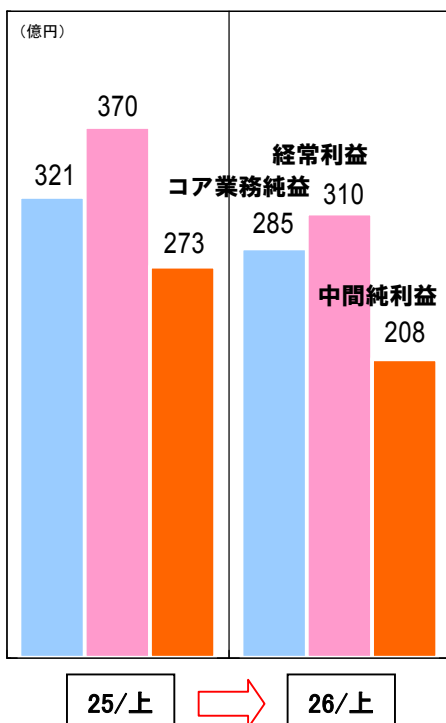
親和銀行単体

(単位:百万円)

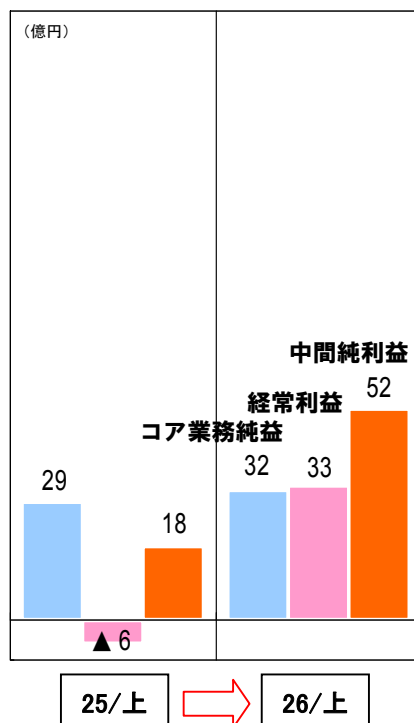
	26年度中間期	25年度中間期	前中間期比
業務粗利益	14,654	15,551	△897
資金利益	12,413	13,227	△814
国内部門	12,395	13,226	△831
国際部門	17	0	17
役務取引等利益	2,017	1,888	129
その他業務利益	223	435	△212
うち国債等債券損益	47	97	△50
うち外為売買損益	155	264	△109
経費(除く臨時処理分) △	10,862	10,700	162
実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	3,791	4,850	△1,059
① 一般貸倒引当金繰入額 △	…[△71]	2,277	△2,277
業務純益	3,791	2,573	1,218
コア業務純益	3,744	4,753	△1,009
臨時損益等	754	△359	1,113
② 不良債権処理額 △	△1,111	579	△1,690
うち個別貸倒引当金繰入額 △	…[△940]	699	△699
うち償却債権取立益	128	135	△7
うち貸倒引当金戻入益	1,012	—	1,012
信用コスト(①+②) △	△1,111	2,856	△3,967
株式等関係損益	0	△8	8
その他臨時損益等	△357	228	△585
経常利益	4,546	2,213	2,333
特別損益	△42	△57	15
税引前中間純利益	4,504	2,156	2,348
法人税等合計 △	1,409	216	1,193
中間純利益	3,095	1,940	1,155

損益推移

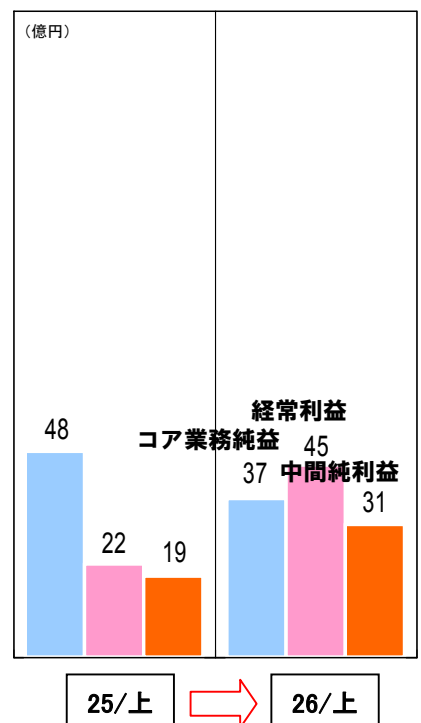
福岡銀行単体



熊本銀行単体

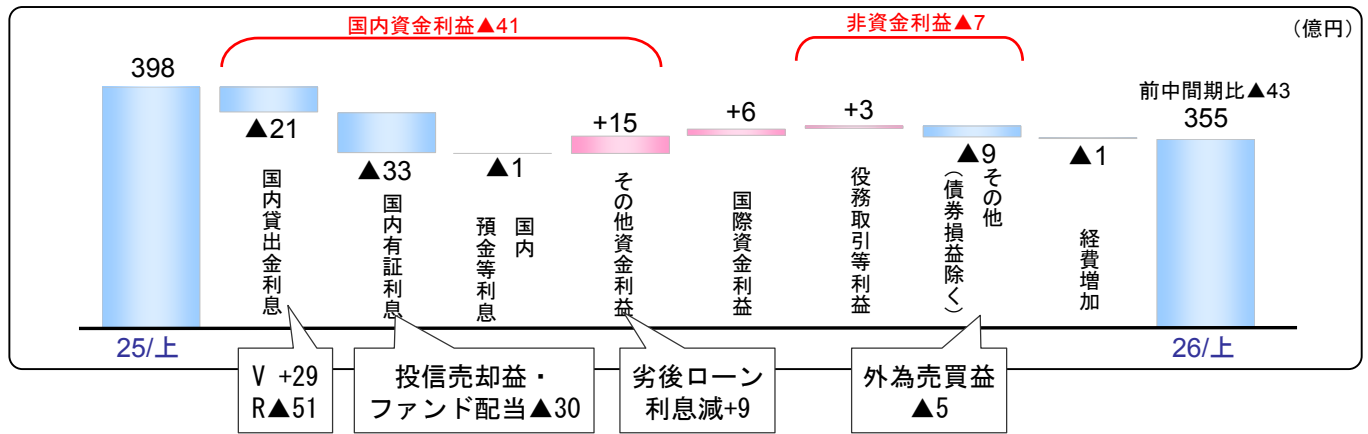


親和銀行単体



(2) コア業務純益

3行単体合算

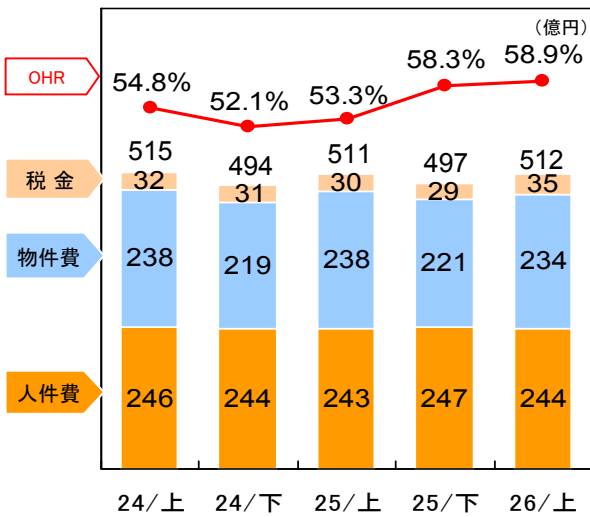


(3) 経費の状況

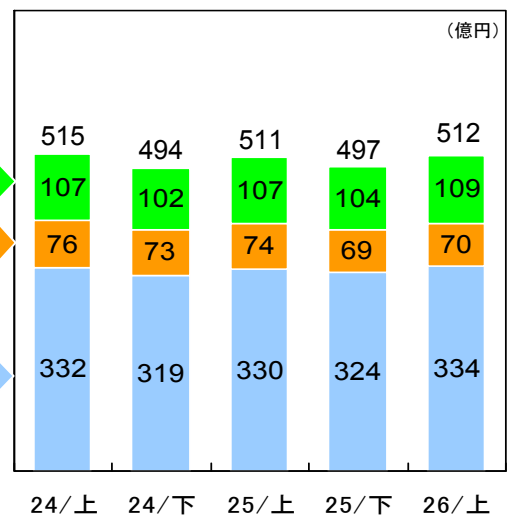
3行単体合算

- 経費 512億円(前中間期比+1億円)・・・税金(消費税等)の増加を物件費の削減でカバーし、前中間期比ほぼ横這い
- OHR 58.9%(同+5.6%)・・・業務粗利益の減少(同▲89億円)等により上昇

経費(科目別)・OHR

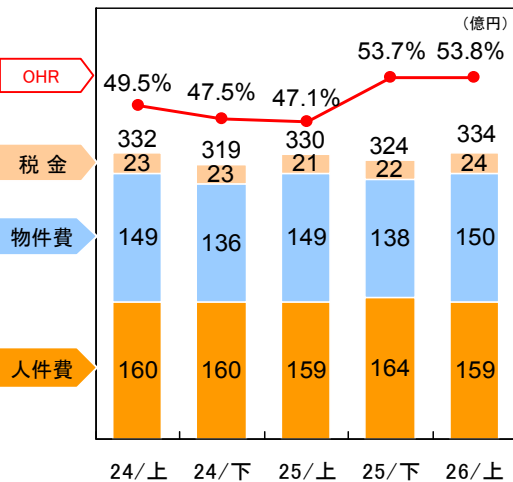


経費(銀行別)

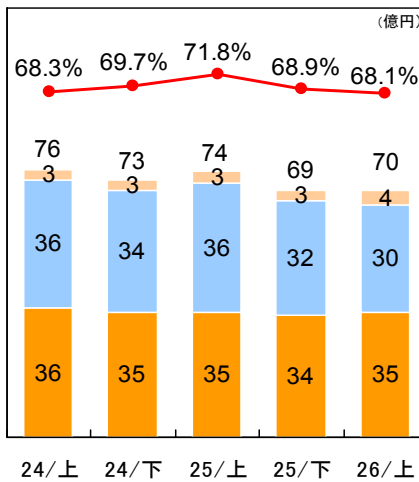


経費(科目別)・OHR

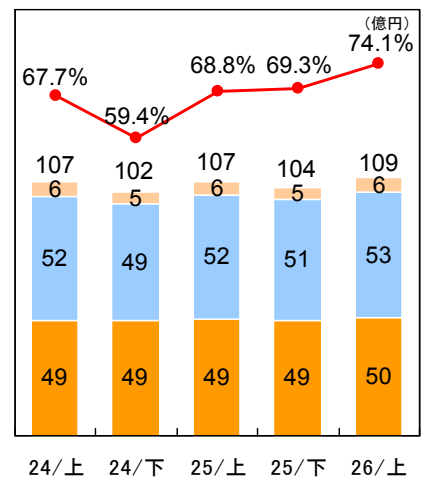
福岡銀行単体



熊本銀行単体



親和銀行単体

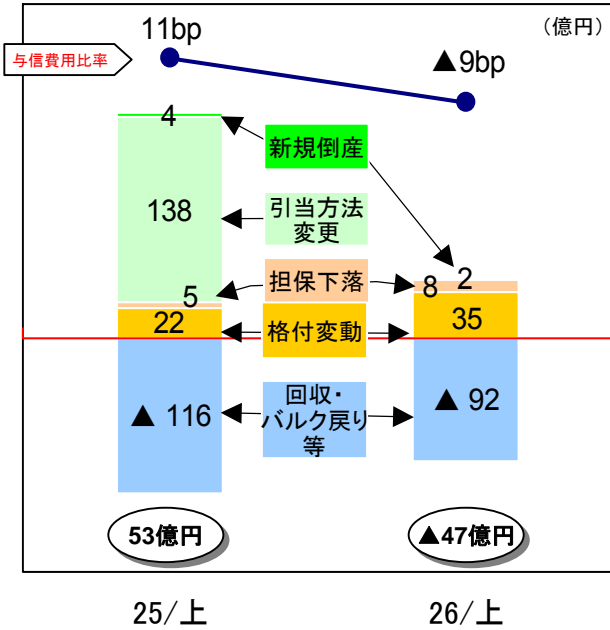


（４）信用コストの状況

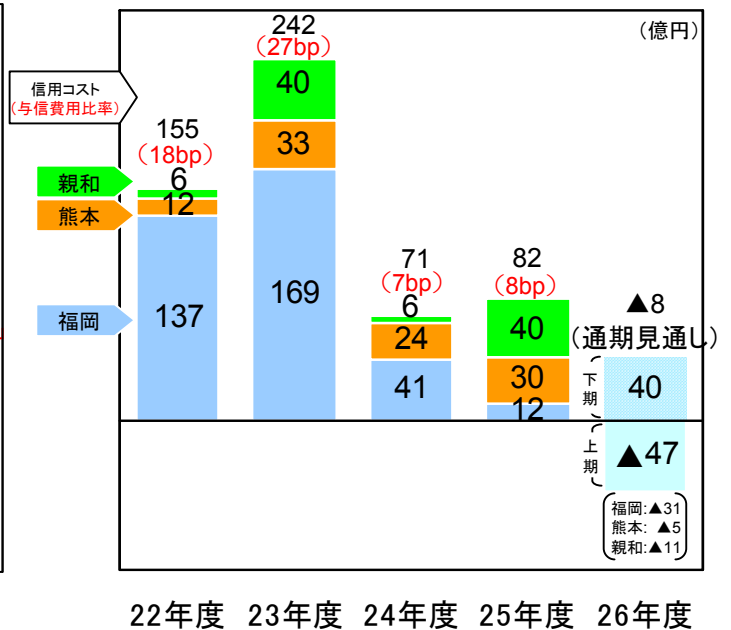
3行単体合算

- 信用コスト ▲47億円の戻り（前中間期比▲100億円）、与信費用比率 ▲9bp（同▲20bp）
- 26年度通期の信用コスト見通し ▲8億円（前年比▲90億円）

信用コスト・与信費用比率



信用コストの推移

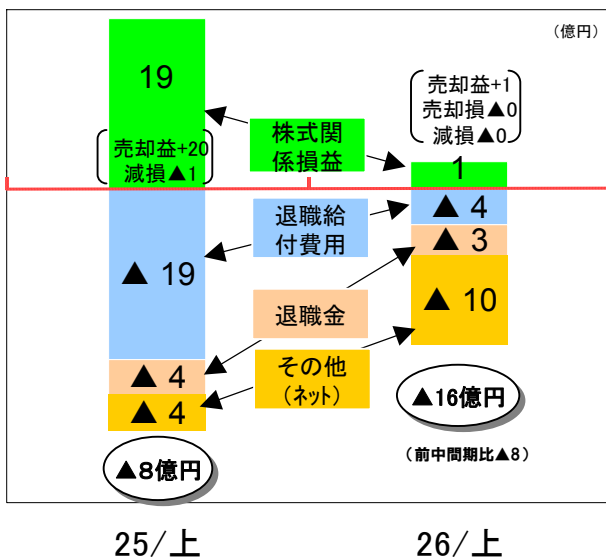


（５）臨時損益等（信用コスト除く）及び特別損益の状況

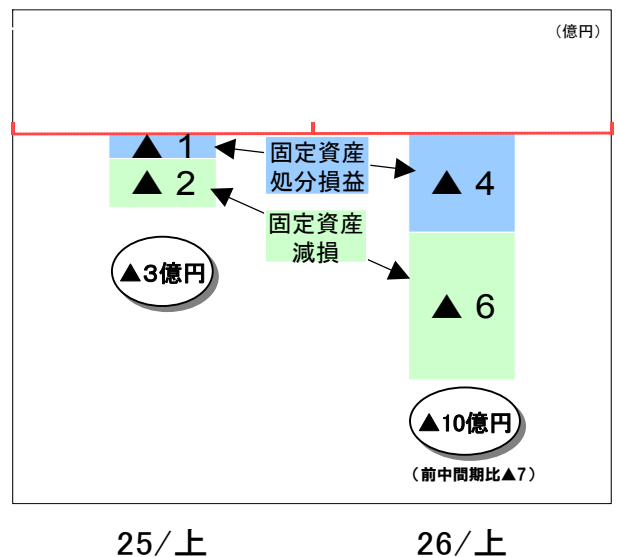
3行単体合算

- 臨時損益等（信用コスト除く） ▲16億円（前中間期比▲8億円）
- 特別損益 固定資産減損・処分損により▲10億円（前中間期比▲7億円）

臨時損益等（信用コスト除く）



特別損益



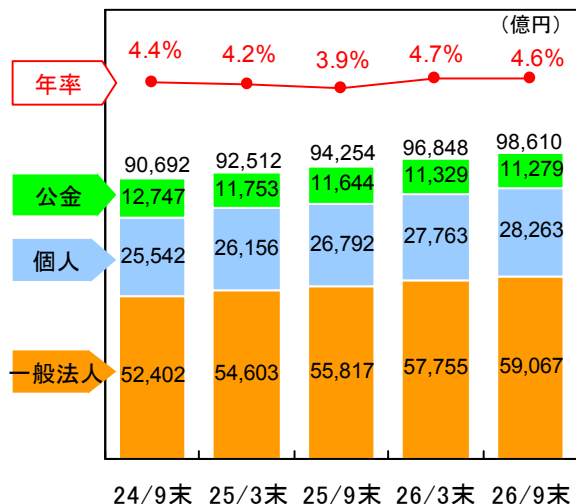
2 資産・負債等の状況

(1) 貸出金の状況

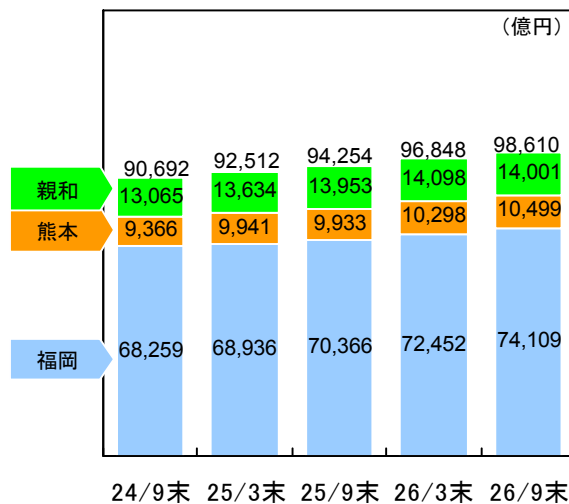
3行単体合算

●総貸出金 9兆8,610億円(26/3末比+1,761億円、25/9末比+4,356億円、年率+4.6%(公金を除く年率は+5.7%))
 〔個人部門 2兆8,263億円(26/3末比+499億円、25/9末比+1,470億円)〕
 〔法人部門 7兆346億円(26/3末比+1,261億円、25/9末比+2,885億円)〕

貸出金末残（セグメント別）



貸出金末残（銀行別）



(単位:百万円)

	年率	26年9月末		26年3月末	25年9月末		
		26/3末比	25/9末比				
3行単体合算	総貸出金	4.6%	9,861,026	176,127	435,602	9,684,899	9,425,424
	個人部門	5.5%	2,826,331	49,942	147,044	2,776,389	2,679,287
	法人部門	4.3%	7,034,693	126,185	288,557	6,908,508	6,746,136
	一般法人	5.8%	5,906,768	131,222	325,067	5,775,546	5,581,701
	公金	△ 3.1%	1,127,924	△ 5,038	△ 36,511	1,132,962	1,164,435
福岡銀行単体	ローン残高	5.7%	2,723,961	50,613	147,549	2,673,348	2,576,412
	うち住宅ローン	5.8%	2,495,759	45,911	137,515	2,449,848	2,358,244
	うち消費性ローン	14.7%	134,605	8,477	17,207	126,128	117,398
	総貸出金	5.3%	7,410,919	165,646	374,230	7,245,273	7,036,689
熊本銀行単体	個人部門	5.5%	2,013,713	34,616	105,115	1,979,097	1,908,598
	法人部門	5.2%	5,397,206	131,032	269,116	5,266,174	5,128,090
	一般法人	6.6%	4,547,687	140,770	281,679	4,406,917	4,266,008
	公金	△ 1.5%	849,519	△ 9,738	△ 12,563	859,257	862,082
親和銀行単体	福岡県内貸出金	4.7%	5,842,614	107,754	261,032	5,734,860	5,581,582
	ローン残高	5.7%	1,948,939	36,018	105,318	1,912,921	1,843,621
	うち住宅ローン	5.7%	1,791,198	30,808	96,421	1,760,390	1,694,777
	うち消費性ローン	18.6%	89,385	7,297	14,042	82,088	75,343
長崎県内貸出金	総貸出金	5.7%	1,049,980	20,175	56,613	1,029,805	993,367
	個人部門	8.4%	378,665	11,680	29,448	366,985	349,217
	法人部門	4.2%	671,314	8,494	27,164	662,820	644,150
	一般法人	3.0%	576,633	△ 1,733	16,865	578,366	559,768
親和銀行単体	公金	12.2%	94,681	10,227	10,299	84,454	84,382
	熊本県内貸出金	5.6%	965,565	20,008	50,929	945,557	914,636
	ローン残高	8.5%	357,271	10,547	28,053	346,724	329,218
	うち住宅ローン	8.8%	333,545	10,450	26,971	323,095	306,574
親和銀行単体	うち消費性ローン	10.7%	17,278	737	1,668	16,541	15,610
	総貸出金	0.3%	1,400,127	△ 9,694	4,759	1,409,821	1,395,368
	個人部門	3.0%	433,953	3,646	12,481	430,307	421,472
	法人部門	△ 0.8%	966,173	△ 13,341	△ 7,223	979,514	973,896
親和銀行単体	一般法人	3.5%	782,448	△ 7,815	26,523	790,263	755,925
	公金	△ 15.7%	183,724	△ 5,527	△ 34,247	189,251	217,971
	長崎県内貸出金	8.2%	1,008,557	320	76,843	1,008,237	931,714
	ローン残高	3.5%	417,751	4,048	14,178	413,703	403,573
親和銀行単体	うち住宅ローン	4.0%	371,016	4,653	14,123	366,363	356,893
	うち消費性ローン	5.7%	27,942	443	1,497	27,499	26,445

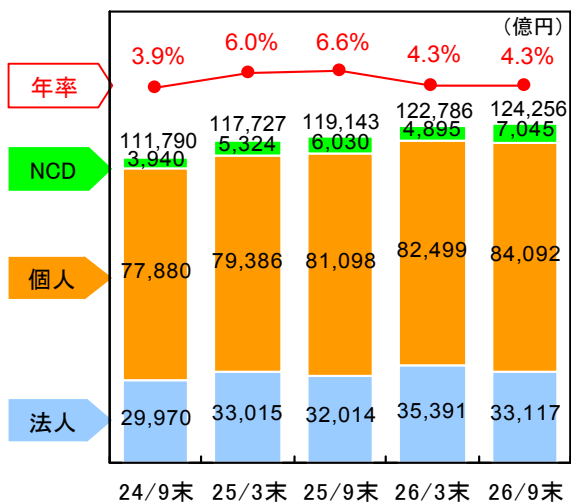
(注) 貸出金には、福岡銀行のFFG向け貸出金(25年9月末 890億円、26年3月末 900億円、26年9月末 930億円)を含んでおります。

（2）預金の状況

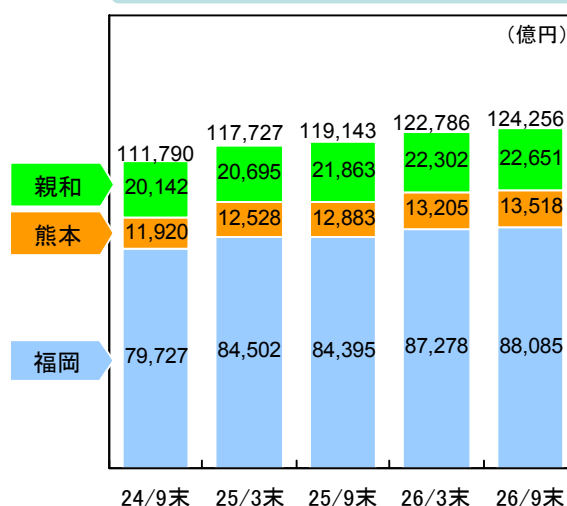
3行単体合算

●総資金（預金+NCD残高） 12兆4,256億円（26/3末比+1,469億円、25/9末比+5,112億円、年率+4.3%）
 個人預金 8兆4,092億円（26/3末比+1,593億円、25/9末比+2,994億円）
 法人預金 3兆3,117億円（26/3末比▲2,273億円、25/9末比+1,102億円）
 NCD 7,045億円（26/3末比+2,149億円、25/9末比+1,015億円）

預金・NCD末残（セグメント別）



預金・NCD末残（銀行別）



（単位：百万円）

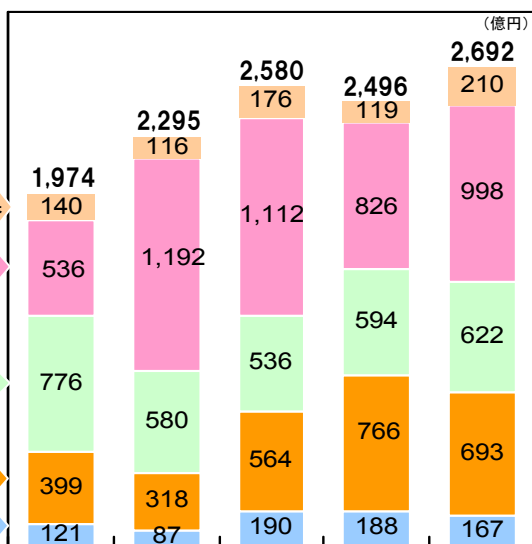
	26年9月末			26年3月末	25年9月末		
	年率		26/3末比			25/9末比	
3行単体合算	個人預金	3.7%	8,409,265	159,349	299,458	8,249,916	8,109,807
	法人預金	3.4%	3,311,760	△ 227,354	110,279	3,539,114	3,201,481
	合計	3.6%	11,721,027	△ 68,003	409,739	11,789,030	11,311,288
	流動性	4.9%	6,964,690	△ 148,353	325,192	7,113,043	6,639,498
	固定性	1.8%	4,756,336	80,349	84,547	4,675,987	4,671,789
	NCD	16.8%	704,571	214,992	101,555	489,579	603,016
	総資金(預金+NCD)	4.3%	12,425,600	146,988	511,295	12,278,612	11,914,305
福岡銀行単体	個人預金	4.1%	6,084,253	120,834	237,141	5,963,419	5,847,112
	法人預金	2.7%	2,260,182	△ 200,877	60,282	2,461,059	2,199,900
	合計	3.7%	8,344,436	△ 80,042	297,424	8,424,478	8,047,012
	流動性	5.1%	5,320,125	△ 128,440	257,182	5,448,565	5,062,943
	固定性	1.3%	3,024,310	48,397	40,241	2,975,913	2,984,069
	NCD	18.2%	464,133	160,790	71,615	303,343	392,518
	総資金(預金+NCD)	4.4%	8,808,570	80,748	369,040	8,727,822	8,439,530
福岡県内預金	3.6%	7,843,448	△ 99,745	271,844	7,943,193	7,571,604	
熊本銀行単体	個人預金	2.9%	942,024	16,421	26,876	925,603	915,148
	法人預金	3.5%	312,112	14,146	10,503	297,966	301,609
	合計	3.1%	1,254,137	30,568	37,380	1,223,569	1,216,757
	流動性	5.0%	560,432	19,405	26,791	541,027	533,641
	固定性	1.6%	693,705	11,163	10,590	682,542	683,115
	NCD	36.4%	97,723	762	26,100	96,961	71,623
	総資金(預金+NCD)	4.9%	1,351,860	31,329	63,479	1,320,531	1,288,381
熊本県内預金	2.8%	1,161,426	27,646	32,011	1,133,780	1,129,415	
親和銀行単体	個人預金	2.6%	1,382,988	22,094	35,441	1,360,894	1,347,547
	法人預金	5.6%	739,466	△ 40,623	39,494	780,089	699,972
	合計	3.7%	2,122,454	△ 18,529	74,935	2,140,983	2,047,519
	流動性	4.0%	1,084,133	△ 39,318	41,219	1,123,451	1,042,914
	固定性	3.4%	1,038,321	20,789	33,716	1,017,532	1,004,605
	NCD	2.8%	142,715	53,440	3,840	89,275	138,875
	総資金(預金+NCD)	3.6%	2,265,170	34,911	78,776	2,230,259	2,186,394
長崎県内預金	5.0%	1,835,666	△ 17,232	87,625	1,852,898	1,748,041	

（3）資産運用商品の状況

グループ合算

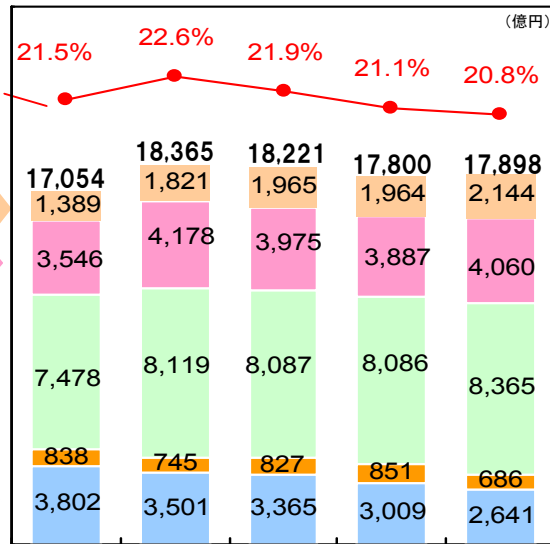
- 資産運用商品販売額 2,692億円（前中間期比+112億円）
- 個人預り資産残高 1兆7,898億円（26/3末比+98億円）、個人預金等に対する割合20.8%（同▲0.3%）

資産運用商品販売額



24/上 24/下 25/上 25/下 26/上
※ふくおか証券は、投資信託・債券販売額の合計

個人預り資産残高



24/9末 25/3末 25/9末 26/3末 26/9末
※ふくおか証券は、個人の投資信託・株式・債券残高の合計

（単位：億円）

資産運用商品販売額

	26年度上期				25年度下期	25年度上期
	前中間期比	25/下比		25/上比		
		25/下比	25/上比			
投資信託	△ 10.3%	998	172	△ 114	826	1,112
保険	15.9%	622	28	86	594	536
外貨預金	22.7%	693	△ 73	129	766	564
公共債	△ 11.8%	167	△ 21	△ 23	188	190
ふくおか証券	19.5%	210	91	34	119	176
合計	4.3%	2,692	196	112	2,496	2,580
個人預金等に対する割合						

個人預り資産残高

	26年9月末				26年3月末	25年9月末
	年率	26/3末比		25/9末比		
		26/3末比	25/9末比			
投資信託	2.2%	4,060	173	85	3,887	3,975
保険	3.4%	8,365	279	278	8,086	8,087
外貨預金	△ 17.0%	686	△ 165	△ 141	851	827
公共債	△ 21.5%	2,641	△ 368	△ 724	3,009	3,365
ふくおか証券	9.1%	2,144	180	179	1,964	1,965
合計	△ 1.8%	17,898	98	△ 323	17,800	18,221
個人預金等に対する割合	—	20.8%	△ 0.3%	△ 1.1%	21.1%	21.9%

グループ合算

福岡銀行単体

熊本銀行単体

親和銀行単体

投資信託	△ 8.3%	584	120	△ 52	464	636
保険	3.0%	376	△ 35	11	411	365
外貨預金	35.5%	339	△ 38	89	377	250
公共債	△ 11.4%	143	△ 19	△ 19	162	162
合計	2.1%	1,444	28	29	1,416	1,415
個人預金に対する割合						

投資信託	1.5%	2,684	128	38	2,556	2,646
保険	4.4%	5,351	241	226	5,110	5,125
外貨預金	△ 14.1%	470	△ 104	△ 78	574	548
公共債	△ 21.3%	2,301	△ 326	△ 623	2,627	2,924
合計	△ 3.9%	10,808	△ 61	△ 435	10,869	11,243
個人預金に対する割合	—	17.8%	△ 0.4%	△ 1.4%	18.2%	19.2%

投資信託	△ 2.2%	191	36	△ 5	155	196
保険	26.6%	90	7	19	83	71
外貨預金	13.7%	146	△ 5	18	151	128
公共債	28.8%	1	△ 1	0	2	1
合計	8.2%	431	39	33	392	398
個人預金に対する割合						

投資信託	5.0%	639	21	30	618	609
保険	0.7%	1,168	6	8	1,162	1,160
外貨預金	△ 15.6%	94	△ 14	△ 18	108	112
公共債	△ 49.2%	39	△ 17	△ 38	56	77
合計	△ 0.9%	1,943	△ 3	△ 17	1,946	1,960
個人預金に対する割合	—	20.6%	△ 0.4%	△ 0.8%	21.0%	21.4%

投資信託	△ 20.5%	222	16	△ 57	206	279
保険	55.7%	154	55	55	99	99
外貨預金	11.6%	206	△ 31	21	237	185
公共債	△ 16.4%	21	△ 2	△ 5	23	26
合計	2.6%	605	37	15	568	590
個人預金に対する割合						

投資信託	2.3%	736	24	17	712	719
保険	2.4%	1,845	32	44	1,813	1,801
外貨預金	△ 27.4%	121	△ 47	△ 46	168	167
公共債	△ 17.4%	300	△ 25	△ 63	325	363
合計	△ 1.6%	3,003	△ 17	△ 49	3,020	3,052
個人預金に対する割合	—	21.7%	△ 0.5%	△ 1.0%	22.2%	22.7%

（注1）投資信託販売額は法人向けを含んでおります（その他は個人向けのみ）。

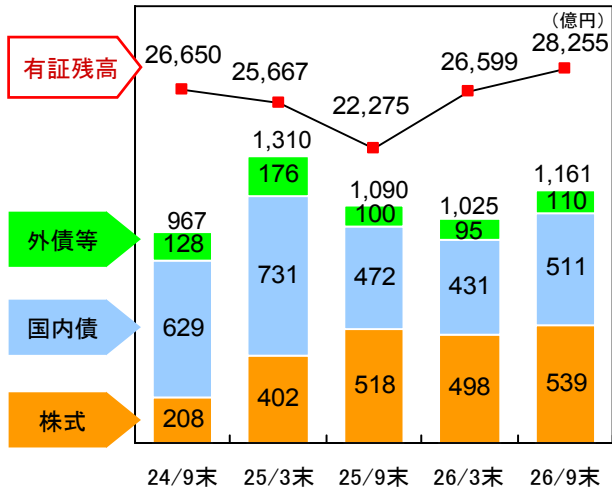
（注2）保険販売額は、前納契約以外の平準払保険を含んでおりません。

(4) 時価のあるその他有価証券の評価差額

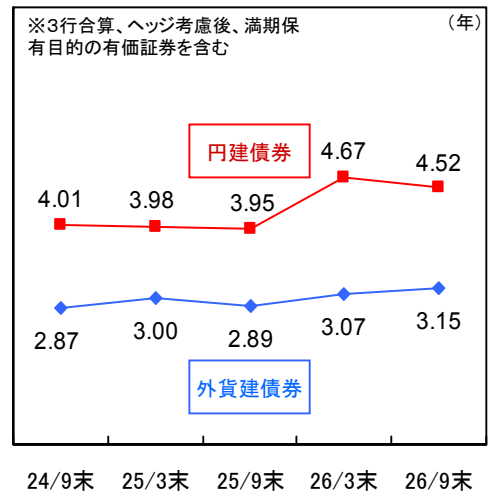
FFG連結

- 時価のあるその他有価証券期末残高 2兆8,255億円(26/3末比+1,656億円)
- " 期末評価差額 +1,161億円(26/3末比+136億円)

時価あり有価証券評価差額



債券デュレーション



(単位:百万円)

		26年9月末				26年3月末					
		時価	26/3末比	評価差額	26/3末比	うち評価益	うち評価損	時価	評価差額	うち評価益	うち評価損
FFG連結	その他有価証券	2,825,564	165,652	116,187	13,619	116,963	776	2,659,912	102,568	105,152	2,583
	株式	120,666	3,817	53,941	4,083	54,327	386	116,849	49,858	51,005	1,147
	債券	2,452,479	160,375	51,186	8,000	51,242	56	2,292,104	43,186	44,158	971
	国債	1,769,104	187,267	39,088	5,214	39,088	-	1,581,837	33,874	34,124	250
	地方債	51,262	2,306	1,677	250	1,680	2	48,956	1,427	1,449	22
	社債	632,112	△ 29,199	10,420	2,535	10,474	54	661,311	7,885	8,583	698
その他	252,418	1,461	11,059	1,536	11,393	333	250,957	9,523	9,988	465	
福岡銀行連結	その他有価証券	1,789,972	169,786	90,658	10,071	91,437	778	1,620,186	80,587	82,485	1,898
	株式	108,424	3,243	53,556	3,492	53,948	391	105,181	50,064	50,925	861
	債券	1,429,154	165,078	26,043	5,040	26,096	52	1,264,076	21,003	21,575	571
	国債	941,480	157,261	16,064	3,026	16,064	-	784,219	13,038	13,191	152
	地方債	40,053	1,341	1,532	191	1,533	1	38,712	1,341	1,346	5
	社債	447,619	6,474	8,446	1,823	8,497	51	441,145	6,623	7,037	413
その他	252,394	1,467	11,059	1,540	11,392	333	250,927	9,519	9,984	465	
熊本銀行単体	その他有価証券	281,748	13,289	6,607	577	6,608	0	268,459	6,030	6,123	92
	株式	1,131	△ 32	176	△ 32	176	-	1,163	208	208	-
	債券	280,592	13,326	6,431	613	6,431	0	267,266	5,818	5,911	92
	国債	217,156	7,274	5,551	442	5,551	-	209,882	5,109	5,138	29
	地方債	1,068	47	28	6	28	0	1,021	22	22	0
	社債	62,368	6,006	851	164	851	0	56,362	687	749	62
その他	24	△ 6	0	△ 3	0	-	30	3	3	-	
親和銀行単体	その他有価証券	753,843	△ 17,423	22,389	3,419	22,424	34	771,266	18,970	19,378	408
	株式	11,111	607	3,677	606	3,710	32	10,504	3,071	3,173	101
	債券	742,732	△ 18,029	18,711	2,813	18,714	2	760,761	15,898	16,205	306
	国債	610,467	22,732	17,471	2,211	17,471	-	587,735	15,260	15,328	67
	地方債	10,140	918	117	54	117	0	9,222	63	80	16
	社債	122,124	△ 41,679	1,122	548	1,125	2	163,803	574	796	222
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

3 金融再生法開示債権の状況

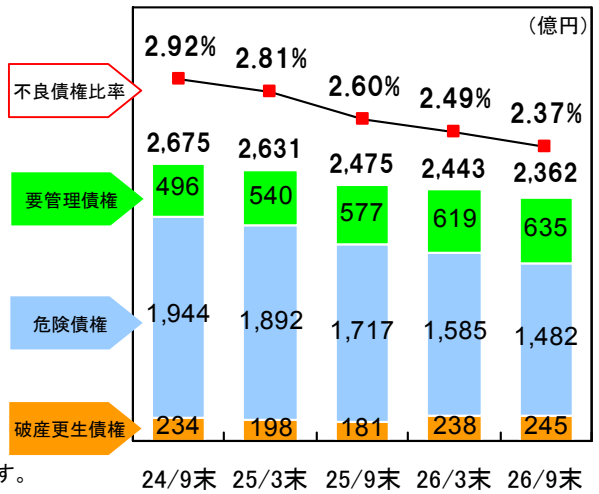
【部分直接償却後】

3行単体合算

- 金融再生法開示債権残高 2,362億円(26/3末比▲81億円、25/9末比▲113億円)
- " 比率 2.37%(26/3末比▲0.12%、25/9末比▲0.23%)

(単位:億円)

	26年9月末	26/3末比	25/9末比	26年3月末	25年9月末
①金融再生法開示債権	2,362	△ 81	△ 113	2,443	2,475
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	245	6	63	238	181
危険債権	1,482	△ 103	△ 235	1,585	1,717
要管理債権	635	16	58	619	577
正常債権	97,188	1,882	4,574	95,307	92,615
②総与信残高	99,550	1,801	4,461	97,750	95,090
不良債権比率 (①/②)	2.37%	△ 0.12%	△ 0.23%	2.49%	2.60%

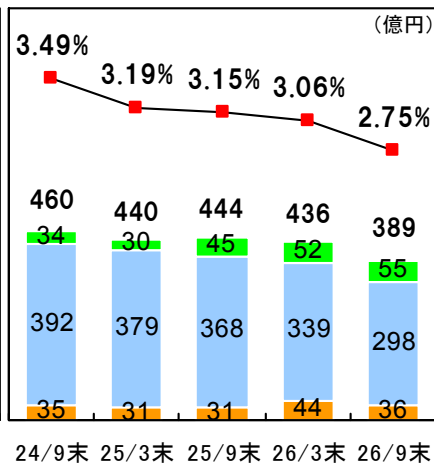
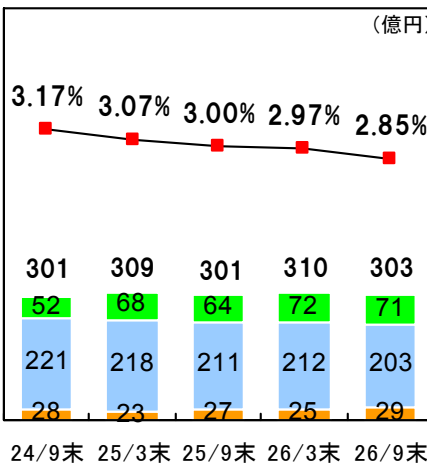
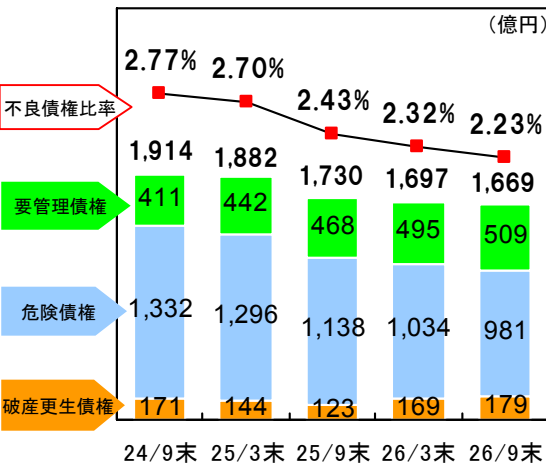


(注) 金融再生法開示債権残高及び総与信残高には自行保証付私債券を含んでおります。

福岡銀行単体

熊本銀行単体

親和銀行単体

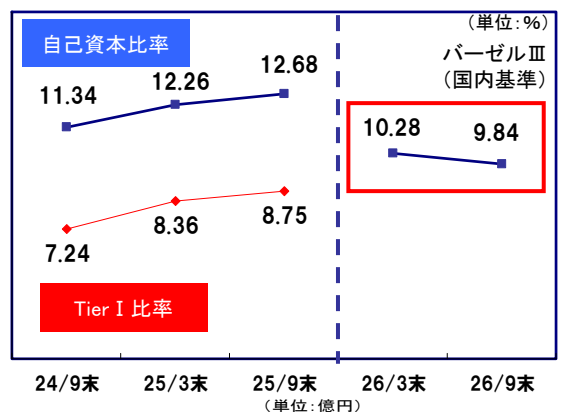


4 自己資本の状況

FFG連結

【国内基準】

- 自己資本比率告示が改正され、26年3月末から新基準(バーゼルⅢ)に基づき算出しております。
- 新基準に基づく連結自己資本比率は、9.84%となりました。
- 第3の柱(市場規律)に基づく自己資本の構成に関する開示事項は、当社ホームページ上 (<http://www.fukuoka-fg.com/zaimu/kessan/2014.htm>) に掲載しております。



(単位:億円)

新基準【バーゼルⅢ】	26年9月末【速報値】	26年3月末
①自己資本比率 ④/⑤	9.84%	10.28%
②コア資本に係る基礎項目	7,590	7,762
③コア資本に係る調整項目	1,177	1,223
④自己資本 ②-③	6,413	6,539
⑤リスク・アセット	65,113	63,602

(単位:億円)

旧基準【バーゼルⅡ】	25年9月末
①自己資本比率 ⑤/⑥	12.68%
②Tier I	5,234
Tier I 比率	8.75%
③Tier II	2,359
④控除項目	9
⑤自己資本 ②+③-④	7,584
⑥リスク・アセット	59,786

(注) 信用リスク・アセットは基礎的内部格付手法、オペレーショナル・リスク相当額は粗利益配分手法により算出しております。

5 業績等予想

●平成26年度中間決算を踏まえ、平成26年度通期の連結業績見通し及び配当予想を以下のとおり修正しております。

FFG連結

(単位:百万円)

	平成26年度(予想)		25年度 実績
		中間期(実績)	
FFG連結経常利益	59,500	33,747	57,020
〃 当期純利益	36,000	21,951	36,192

1株あたり配当金 (普通株式)	年間配当金(予想)		25年度 実績
		中間期	
	12.0円	6.0円	12.0円

<ご参考>

・子銀行ベースでの通期業績見通しは以下のとおりです。

FFG連結と同様、子銀行の平成26年度通期業績見通しにつきましても修正しております。

(単位:百万円)

	3行 単体合算				(3行合算) 25年度
	福岡	熊本	親和		
コア業務純益	72,000	57,200	6,500	8,300	74,948
経常利益	69,500	55,900	5,300	8,300	66,649
当期純利益	50,000	37,100	7,600	5,300	50,055
信用コスト(▲)	▲ 800	▲ 600	200	▲ 400	8,197

※上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績はこれらの予想値と異なる結果となる可能性があります。

II 決算の概況

1 損益の状況

【F F G連結】

(単位:百万円)

		26年度中間期	前中間期比	25年度中間期
連結粗利益	1	92,380	△8,830	101,210
資金利益	2	73,972	△3,912	77,884
役務取引等利益	3	13,910	278	13,632
特定取引利益	4	132	△9	141
その他業務利益	5	4,365	△5,187	9,552
うち 国債等債券損益(5勘定戻)	6	611	△4,333	4,944
売却益	7	596	△4,174	4,770
売却損	△ 8	0	△191	191
償還益	9	19	△378	397
償還損	△ 10	0	△27	27
償却	△ 11	3	△1	4
営業経費	△ 12	62,030	△1,941	63,971
その他経常損益	13	3,396	7,356	△3,960
不良債権処理額(信用コスト)	△ 14	△4,166	△10,031	5,865
一般貸倒引当金繰入額	△ 15	[△4,452] —	△10,406	10,406
個別貸倒引当金繰入額	△ 16	[940] —	2,683	△2,683
延滞債権等売却損	△ 17	0	0	0
その他	△ 18	277	601	△324
償却債権取立益	19	933	△600	1,533
貸倒引当金戻入益	20	3,511	3,511	—
株式等関係損益	21	448	△1,840	2,288
売却益	22	462	△1,908	2,370
売却損	△ 23	0	0	—
償却	△ 24	13	△69	82
その他	25	△1,217	△835	△382
経常利益	26	33,747	469	33,278
特別損益	27	△1,031	△794	△237
税金等調整前中間純利益	28	32,715	△325	33,040
法人税、住民税及び事業税	△ 29	3,843	613	3,230
法人税等調整額	△ 30	5,536	1,235	4,301
法人税等合計	△ 31	9,380	1,849	7,531
少数株主利益	△ 32	1,383	△411	1,794
中間純利益	33	21,951	△1,763	23,714

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 連結粗利益=(資金運用収益-資金調達費用)+(役務取引等収益-役務取引等費用)
+ (特定取引収益-特定取引費用) + (その他業務収益-その他業務費用)

3. 26年度中間期において、一般貸倒引当金繰入額と個別貸倒引当金繰入額の合計額が取崩超過となりましたので、取崩超過額を「その他経常損益」の貸倒引当金戻入益に計上しております。なお、[]内は相殺前の金額であります。

【参考】連結子会社数

■平成26年度中間期の連結子会社の異動状況
・減少1社・・・Fukuoka Preferred Capital Cayman Limited

(単位:社)

	26年9月末	26/3末比	26年3月末
連結子会社数	18	△1	19

【福岡銀行単体】

(単位:百万円)

	26年度中間期	前中間期比	25年度中間期
業務粗利益	62,094	△7,847	69,941
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	(61,935)	(△3,161)	(65,096)
資金利益	53,309	△2,467	55,776
役務取引等利益	7,497	△8	7,505
特定取引利益	65	8	57
その他業務利益	1,221	△5,381	6,602
うち国債等債券損益(5勘定戻)	159	△4,686	4,845
売却益	140	△4,411	4,551
売却損	0	△69	69
償還益	19	△378	397
償還損	—	△28	28
償却	0	△4	4
経費(除く臨時処理分)	33,408	441	32,967
人件費	15,928	△6	15,934
物件費	15,038	110	14,928
税金	2,441	337	2,104
実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	28,685	△8,288	36,973
除く国債等債券損益(5勘定戻)	28,526	△3,602	32,128
①一般貸倒引当金繰入額	[△3,637] —	△5,675	5,675
業務純益	28,685	△2,613	31,298
臨時損益等	2,304	△3,380	5,684
②不良債権処理額	△3,144	2,722	△5,866
個別貸倒引当金繰入額	[885] —	4,322	△4,322
延滞債権等売却損	0	0	0
その他	225	467	△242
償却債権取立益	618	△684	1,302
貸倒引当金戻入益	2,752	2,752	—
株式等関係損益	118	△1,815	1,933
売却益	118	△1,880	1,998
売却損	0	0	—
償却	—	△64	64
その他臨時損益等	△958	1,158	△2,116
経常利益	30,990	△5,992	36,982
特別損益	△954	△794	△160
固定資産処分損益	△334	△209	△125
固定資産処分益	—	△5	5
固定資産処分損	334	204	130
固定資産減損損失	620	586	34
税引前中間純利益	30,035	△6,787	36,822
法人税、住民税及び事業税	6,951	543	6,408
法人税等調整額	2,254	△853	3,107
法人税等合計	9,205	△310	9,515
中間純利益	20,830	△6,476	27,306
信用コスト(①+②)	△3,144	△2,953	△191

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 26年度中間期において、一般貸倒引当金繰入額と個別貸倒引当金繰入額の合計額が取崩超過となりましたので、取崩超過額を「臨時損益等」の貸倒引当金戻入益に計上しております。なお、[]内は相殺前の金額であります。

【熊本銀行単体】

(単位:百万円)

	26年度中間期	前中間期比	25年度中間期
業務粗利益	10,222	△124	10,346
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	(10,200)	(△146)	(10,346)
資金利益	9,121	△210	9,331
役務取引等利益	942	157	785
その他業務利益	157	△71	228
うち国債等債券損益(5勘定戻)	21	21	△0
売却益	25	25	—
売却損	—	—	—
償還益	—	—	—
償還損	—	△0	0
償却	3	3	—
経費(除く臨時処理分)	6,958	△475	7,433
人件費	3,519	33	3,486
物件費	3,033	△571	3,604
税金	405	63	342
実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	3,263	351	2,912
除く国債等債券損益(5勘定戻)	3,241	328	2,913
①一般貸倒引当金繰入額	[△662] —	△2,544	2,544
業務純益	3,263	2,895	368
臨時損益等	44	975	△931
②不良債権処理額	△484	△581	97
個別貸倒引当金繰入額	[333] —	△168	168
延滞債権等売却損	—	—	—
その他	30	5	25
償却債権取立益	185	89	96
貸倒引当金戻入益	328	328	—
株式等関係損益	△13	△8	△5
売却益	—	—	—
売却損	—	—	—
償却	13	8	5
その他臨時損益等	△425	403	△828
経常利益	3,308	3,871	△563
特別損益	△34	65	△99
固定資産処分損益	△23	△20	△3
固定資産処分益	0	0	0
固定資産処分損	23	20	3
固定資産減損損失	10	△85	95
税引前中間純利益	3,274	3,936	△662
法人税、住民税及び事業税	△2,325	495	△2,820
法人税等調整額	408	32	376
法人税等合計	△1,916	527	△2,443
中間純利益	5,191	3,410	1,781
信用コスト(①+②)	△484	△3,126	2,642

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 26年度中間期において、一般貸倒引当金繰入額と個別貸倒引当金繰入額の合計額が取崩超過となりましたので、取崩超過額を「臨時損益等」の貸倒引当金戻入益に計上しております。なお、[]内は相殺前の金額であります。

【親和銀行単体】

(単位:百万円)

		26年度中間期	前中間期比	25年度中間期
業務粗利益	1	14,654	△897	15,551
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	2	(14,607)	(△846)	(15,453)
資金利益	3	12,413	△814	13,227
役務取引等利益	4	2,017	129	1,888
その他業務利益	5	223	△212	435
うち国債等債券損益(5勘定戻)	6	47	△50	97
売却益	7	65	△154	219
売却損	△ 8	18	△104	122
償還益	9	—	—	—
償還損	△ 10	0	0	—
償却	△ 11	—	—	—
経費(除く臨時処理分)	△ 12	10,862	162	10,700
人件費	△ 13	4,957	37	4,920
物件費	△ 14	5,287	65	5,222
税金	△ 15	616	59	557
実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	16	3,791	△1,059	4,850
除く国債等債券損益(5勘定戻)	17	3,744	△1,009	4,753
①一般貸倒引当金繰入額	△ 18	—	△2,277	2,277
業務純益	19	3,791	1,218	2,573
臨時損益等	20	754	1,113	△359
②不良債権処理額	△ 21	△1,111	△1,690	579
個別貸倒引当金繰入額	△ 22	—	△699	699
延滞債権等売却損	△ 23	—	△0	0
その他	△ 24	29	15	14
償却債権取立益	25	128	△7	135
貸倒引当金戻入益	26	1,012	1,012	—
株式等関係損益	27	0	8	△8
売却益	28	1	1	—
売却損	△ 29	—	—	—
償却	△ 30	0	△8	8
その他臨時損益等	31	△357	△585	228
経常利益	32	4,546	2,333	2,213
特別損益	33	△42	15	△57
固定資産処分損益	34	△25	△7	△18
固定資産処分益	35	1	△16	17
固定資産処分損	△ 36	27	△8	35
固定資産減損損失	△ 37	16	△23	39
税引前中間純利益	38	4,504	2,348	2,156
法人税、住民税及び事業税	△ 39	△1,408	△601	△807
法人税等調整額	△ 40	2,817	1,794	1,023
法人税等合計	△ 41	1,409	1,193	216
中間純利益	42	3,095	1,155	1,940
信用コスト(①+②)	△ 43	△1,111	△3,967	2,856

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 26年度中間期において、一般貸倒引当金繰入額と個別貸倒引当金繰入額の合計額が取崩超過となりましたので、取崩超過額を「臨時損益等」の貸倒引当金戻入益に計上しております。なお、[]内は相殺前の金額であります。

2 業務純益

【3行単体合算】

(単位:百万円)

	26年度中間期	前中間期比	25年度中間期
実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	35,741	△8,996	44,737
職員(平残)一人当たり(千円)	5,963	△1,614	7,577
業務純益	35,741	1,502	34,239
職員(平残)一人当たり(千円)	5,963	164	5,799

【福岡銀行単体】

(単位:百万円)

	26年度中間期	前中間期比	25年度中間期
実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	28,685	△8,288	36,973
職員(平残)一人当たり(千円)	7,667	△2,399	10,066
業務純益	28,685	△2,613	31,298
職員(平残)一人当たり(千円)	7,667	△854	8,521

(注)職員数平残=月末従業員数合計÷6

なお、上記従業員数は、行外への出向者を除き、行外から受け入れた出向者を含んでおります。また、嘱託者及び海外現地採用者は除いております。

以下、熊本銀行及び親和銀行についても、同様であります。

【熊本銀行単体】

(単位:百万円)

	26年度中間期	前中間期比	25年度中間期
実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	3,263	351	2,912
職員(平残)一人当たり(千円)	3,381	347	3,034
業務純益	3,263	2,895	368
職員(平残)一人当たり(千円)	3,381	2,998	383

【親和銀行単体】

(単位:百万円)

	26年度中間期	前中間期比	25年度中間期
実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	3,791	△1,059	4,850
職員(平残)一人当たり(千円)	2,946	△870	3,816
業務純益	3,791	1,218	2,573
職員(平残)一人当たり(千円)	2,946	922	2,024

3 資金平残・利鞘

(1) 資金平残

【3行単体合算】

(単位:百万円)

	26年度中間期	前中間期比	25年度中間期
資金運用勘定	12,662,800	658,581	12,004,219
うち貸出金	9,635,936	426,330	9,209,606
うち有価証券	2,820,942	436,476	2,384,466
資金調達勘定	13,579,792	1,120,734	12,459,058
うち預金等	12,404,822	556,094	11,848,728
うち外部負債	861,745	475,511	386,234

【福岡銀行単体】

(単位:百万円)

	26年度中間期	前中間期比	25年度中間期
資金運用勘定	9,194,634	484,884	8,709,750
うち貸出金	7,241,958	348,933	6,893,025
うち有価証券	1,779,057	308,874	1,470,183
資金調達勘定	9,743,129	743,697	8,999,432
うち預金等	8,811,107	362,826	8,448,281
うち外部負債	619,759	292,331	327,428

【熊本銀行単体】

(単位:百万円)

	26年度中間期	前中間期比	25年度中間期
資金運用勘定	1,305,325	92,241	1,213,084
うち貸出金	1,014,014	50,932	963,082
うち有価証券	278,090	59,489	218,601
資金調達勘定	1,407,677	141,185	1,266,492
うち預金等	1,323,944	78,394	1,245,550
うち外部負債	82,850	62,162	20,688

【親和銀行単体】

(単位:百万円)

	26年度中間期	前中間期比	25年度中間期
資金運用勘定	2,162,840	81,456	2,081,384
うち貸出金	1,379,962	26,464	1,353,498
うち有価証券	763,794	68,112	695,682
資金調達勘定	2,428,985	235,852	2,193,133
うち預金等	2,269,770	114,873	2,154,897
うち外部負債	159,135	121,019	38,116

(2) 利鞘

(単位:%)

	3行単体合算			福岡銀行単体			熊本銀行単体			親和銀行単体		
	26年度 中間期	前中間期比	25年度 中間期	26年度 中間期	前中間期比	25年度 中間期	26年度 中間期	前中間期比	25年度 中間期	26年度 中間期	前中間期比	25年度 中間期
(1)資金運用利回	1.31	△ 0.17	1.48	1.30	△ 0.19	1.49	1.49	△ 0.15	1.64	1.23	△ 0.12	1.35
貸出金利回 ①	1.39	△ 0.11	1.50	1.33	△ 0.10	1.43	1.69	△ 0.13	1.82	1.50	△ 0.14	1.64
有価証券利回	1.02	△ 0.47	1.49	1.20	△ 0.70	1.90	0.75	△ 0.18	0.93	0.72	△ 0.08	0.80
(2)資金調達原価	0.87	△ 0.12	0.99	0.82	△ 0.12	0.94	1.07	△ 0.20	1.27	0.97	△ 0.08	1.05
預金等利回 ②	0.06	△ 0.00	0.06	0.05	△ 0.00	0.05	0.08	△ 0.02	0.10	0.07	0.00	0.07
外部負債利回	0.20	△ 0.86	1.06	0.22	△ 0.97	1.19	0.09	0.00	0.09	0.16	△ 0.31	0.47
(3)預貸金粗利鞘 ①-②	1.33	△ 0.11	1.44	1.28	△ 0.10	1.38	1.61	△ 0.11	1.72	1.43	△ 0.14	1.57
(4)総資金利鞘 (1)-(2)	0.44	△ 0.05	0.49	0.48	△ 0.07	0.55	0.42	0.05	0.37	0.26	△ 0.04	0.30

4 資金平残・利鞘（国内部門）

(1) 資金平残

【3行単体合算】

(単位:百万円)

	26年度中間期	前中間期比	25年度中間期
資金運用勘定	12,345,004	641,106	11,703,898
うち貸出金	9,437,478	415,713	9,021,765
うち有価証券	2,606,689	440,184	2,166,505
資金調達勘定	13,279,766	1,101,973	12,177,793
うち預金等	12,280,572	538,975	11,741,597
うち外部負債	801,191	495,441	305,750

【福岡銀行単体】

(単位:百万円)

	26年度中間期	前中間期比	25年度中間期
資金運用勘定	8,913,796	473,118	8,440,678
うち貸出金	7,051,480	340,847	6,710,633
うち有価証券	1,564,803	312,582	1,252,221
資金調達勘定	9,480,004	730,715	8,749,289
うち預金等	8,719,618	347,649	8,371,969
うち外部負債	563,307	316,122	247,185

【熊本銀行単体】

(単位:百万円)

	26年度中間期	前中間期比	25年度中間期
資金運用勘定	1,291,892	92,348	1,199,544
うち貸出金	1,012,811	50,993	961,818
うち有価証券	278,090	59,489	218,601
資金調達勘定	1,394,237	141,237	1,253,000
うち預金等	1,310,514	78,445	1,232,069
うち外部負債	82,850	62,162	20,688

【親和銀行単体】

(単位:百万円)

	26年度中間期	前中間期比	25年度中間期
資金運用勘定	2,139,315	75,640	2,063,675
うち貸出金	1,373,186	23,873	1,349,313
うち有価証券	763,794	68,112	695,682
資金調達勘定	2,405,524	230,021	2,175,503
うち預金等	2,250,439	112,881	2,137,558
うち外部負債	155,033	117,158	37,875

(2) 利鞘

(単位:%)

	3行単体合算			福岡銀行単体			熊本銀行単体			親和銀行単体		
	26年度 中間期	前中間期比	25年度 中間期	26年度 中間期	前中間期比	25年度 中間期	26年度 中間期	前中間期比	25年度 中間期	26年度 中間期	前中間期比	25年度 中間期
(1)資金運用利回	1.27	△ 0.16	1.43	1.24	△ 0.17	1.41	1.50	△ 0.15	1.65	1.24	△ 0.11	1.35
貸出金利回 ①	1.40	△ 0.11	1.51	1.34	△ 0.10	1.44	1.69	△ 0.13	1.82	1.50	△ 0.14	1.64
有価証券利回	0.85	△ 0.48	1.33	0.93	△ 0.76	1.69	0.75	△ 0.18	0.93	0.72	△ 0.08	0.80
(2)資金調達原価	0.86	△ 0.10	0.96	0.80	△ 0.09	0.89	1.07	△ 0.19	1.26	0.97	△ 0.08	1.05
預金等利回 ②	0.05	△ 0.00	0.05	0.05	△ 0.00	0.05	0.08	△ 0.00	0.08	0.07	0.01	0.06
外部負債利回	0.14	△ 0.66	0.80	0.15	△ 0.76	0.91	0.09	0.00	0.09	0.16	△ 0.31	0.47
(3)預貸金粗利鞘 ①-②	1.35	△ 0.11	1.46	1.29	△ 0.10	1.39	1.61	△ 0.13	1.74	1.43	△ 0.15	1.58
(4)総資金利鞘 (1)-(2)	0.41	△ 0.06	0.47	0.44	△ 0.08	0.52	0.43	0.04	0.39	0.27	△ 0.03	0.30

5 自己資本比率

【FFG連結】

新基準【バーゼルⅢ】	26年9月末 [速報値]	26年3月末	旧基準【バーゼルⅡ】	25年9月末
①自己資本比率(%) ④/⑤	9.84	10.28	①自己資本比率(%) ⑤/⑥	12.68
②コア資本に係る基礎項目(百万円)	759,043	776,295	②Tier I (百万円)	523,445
うちコア資本に算入される引当金の合計額	14,724	21,643	Tier I 比率(%)	8.75
うち経過措置によりコア資本に算入される 適格旧非累積的永久優先株	9,371	9,371	③Tier II (百万円)	235,926
うち経過措置によりコア資本に算入される 適格旧資本調達手段の額	117,500	137,500	(ア)うち一般貸倒引当金の 自己資本への算入額	104
うち経過措置によりコア資本に算入される 土地再評価差額	33,616	33,865	(イ)うち自己資本に計上され た土地再評価差額金	33,950
③コア資本に係る調整項目(百万円)	117,717	122,302	(ウ)うち劣後ローン(債券)の 自己資本への算入額	185,000
④自己資本(百万円) ②-③	641,326	653,992	(エ)うち内部格付手法採用行において、 適格引当金が期待損失額を上回る額	16,872
⑤リスク・アセット(百万円)	6,511,332	6,360,293	④控除項目(百万円)	953
			うち他の金融機関の資本調達手段の意図的 な保有相当額	50
			⑤自己資本(百万円) ②+③-④	758,419
			⑥リスク・アセット(百万円)	5,978,625

(注)信用リスク・アセットは基礎的の内部格付手法、オペレーショナル・リスク相当額は粗利益配分手法により算出しております。

【福岡銀行連結】

新基準【バーゼルⅢ】	26年9月末 [速報値]	26年3月末	旧基準【バーゼルⅡ】	25年9月末
①自己資本比率(%) ④/⑤	10.08	10.72	①自己資本比率(%) ⑤/⑥	13.28
②コア資本に係る基礎項目(百万円)	571,418	588,335	②Tier I (百万円)	474,417
うちコア資本に算入される引当金の合計額	11,308	16,564	Tier I 比率(%)	10.34
うち経過措置によりコア資本に算入される 適格旧資本調達手段の額	87,500	107,500	③Tier II (百万円)	224,497
うち経過措置によりコア資本に算入される 土地再評価差額	33,616	33,865	(ア)うち一般貸倒引当金の 自己資本への算入額	104
③コア資本に係る調整項目(百万円)	53,070	51,897	(イ)うち自己資本に計上され た土地再評価差額金	33,950
④自己資本(百万円) ②-③	518,347	536,437	(ウ)うち劣後ローン(債券)の 自己資本への算入額	177,500
⑤リスク・アセット(百万円)	5,139,001	5,001,908	(エ)うち内部格付手法採用行において、 適格引当金が期待損失額を上回る額	12,942
			④控除項目(百万円)	89,805
			うち他の金融機関の資本調達手段の意図的 な保有相当額	89,000
			⑤自己資本(百万円) ②+③-④	609,109
			⑥リスク・アセット(百万円)	4,585,298

(注)信用リスク・アセットは基礎的の内部格付手法、オペレーショナル・リスク相当額は粗利益配分手法により算出しております。

【福岡銀行単体】

新基準【バーゼルⅢ】	26年9月末 [速報値]	26年3月末
①自己資本比率(%) ④/⑤	10.10	10.78
②コア資本に係る基礎項目(百万円)	546,903	564,612
うちコア資本に算入される引当金の合計額	4,727	9,791
うち経過措置によりコア資本に算入される 適格旧資本調達手段の額	87,500	107,500
うち経過措置によりコア資本に算入される 土地再評価差額	33,616	33,865
③コア資本に係る調整項目(百万円)	52,940	51,870
④自己資本(百万円) ②-③	493,962	512,741
⑤リスク・アセット(百万円)	4,886,436	4,755,666

旧基準【バーゼルⅡ】	25年9月末
①自己資本比率(%) ⑤/⑥	13.70
②Tier I(百万円)	458,530
Tier I 比率(%)	10.61
③Tier II(百万円)	223,455
(ア)うち一般貸倒引当金の 自己資本への算入額	—
(イ)うち自己資本に計上され た土地再評価差額金	33,950
(ウ)うち劣後ローン(債券)の 自己資本への算入額	177,500
(エ)うち内部格付手法採用行において、 適格引当金が期待損失額を上回る額	12,004
④控除項目(百万円)	89,839
うち他の金融機関の資本調達手段の意図的 な保有相当額	89,000
⑤自己資本(百万円) ②+③-④	592,146
⑥リスク・アセット(百万円)	4,319,096

(注)信用リスク・アセットは基礎的内部格付手法、オペレーショナル・リスク相当額は粗利益配分手法により算出しております。

【熊本銀行単体】

新基準【バーゼルⅢ】	26年9月末 [速報値]	26年3月末
①自己資本比率(%) ④/⑤	10.69	10.60
②コア資本に係る基礎項目(百万円)	86,927	82,762
うちコア資本に算入される引当金の合計額	9,667	9,232
うち経過措置によりコア資本に算入される 適格旧資本調達手段の額	—	—
うち経過措置によりコア資本に算入される 土地再評価差額	1,043	1,043
③コア資本に係る調整項目(百万円)	—	—
④自己資本(百万円) ②-③	86,927	82,762
⑤リスク・アセット(百万円)	813,030	780,428

旧基準【バーゼルⅡ】	25年9月末
①自己資本比率(%) ⑤/⑥	10.80
②Tier I(百万円)	74,546
Tier I 比率(%)	10.04
③Tier II(百万円)	5,683
(ア)うち一般貸倒引当金の 自己資本への算入額	4,639
(イ)うち自己資本に計上され た土地再評価差額金	1,043
(ウ)うち劣後ローン(債券)の 自己資本への算入額	—
④控除項目(百万円)	50
うち他の金融機関の資本調達手段の意図的 な保有相当額	50
⑤自己資本(百万円) ②+③-④	80,180
⑥リスク・アセット(百万円)	742,345

(注)信用リスク・アセットは標準的手法、オペレーショナル・リスク相当額は粗利益配分手法により算出しております。

【親和銀行単体】

新基準【バーゼルⅢ】	26年9月末 [速報値]	26年3月末
①自己資本比率(%) ④／⑤	10.89	10.74
②コア資本に係る基礎項目(百万円)	121,576	120,341
うちコア資本に算入される引当金の合計額	10,386	10,457
うち経過措置によりコア資本に算入される 適格旧資本調達手段の額	5,000	5,000
うち経過措置によりコア資本に算入される 土地再評価差額	8,927	8,926
③コア資本に係る調整項目(百万円)	—	—
④自己資本(百万円) ②－③	121,576	120,341
⑤リスク・アセット(百万円)	1,115,790	1,119,541

旧基準【バーゼルⅡ】	25年9月末
①自己資本比率(%) ⑤／⑥	11.80
②Tier I(百万円)	103,576
Tier I 比率(%)	9.64
③Tier II(百万円)	23,194
(ア)うち一般貸倒引当金の 自己資本への算入額	6,709
(イ)うち自己資本に計上され た土地再評価差額金	8,984
(ウ)うち劣後ローン(債券)の 自己資本への算入額	7,500
④控除項目(百万円)	—
うち他の金融機関の資本調達手段の意図的 な保有相当額	—
⑤自己資本(百万円) ②＋③－④	126,770
⑥リスク・アセット(百万円)	1,073,457

(注)信用リスク・アセットは標準的手法、オペレーショナル・リスク相当額は粗利益配分手法により算出しております。

6 繰延税金資産

【FFG連結】

(単位:百万円)

	26年9月末	26／3末比	25／9末比	26年3月末	25年9月末
貸倒引当金	57,076	△3,645	△6,847	60,721	63,923
税務上の繰越欠損金	20,639	△2,339	△9,574	22,978	30,213
退職給付引当金	—	—	△6,265	—	6,265
退職給付に係る負債	8,414	3,564	8,414	4,850	—
有価証券償却	7,520	186	△135	7,334	7,655
減価償却	3,387	△115	△379	3,502	3,766
繰延ヘッジ損益	3,676	△230	△2,019	3,906	5,695
連結納税に伴う時価評価益	17,641	△2,514	△5,619	20,155	23,260
その他	7,149	△421	42	7,570	7,107
①繰延税金資産小計	125,506	△5,515	△22,381	131,021	147,887
②評価性引当額	39,760	△3,696	△12,507	43,456	52,267
③繰延税金資産合計①－②	85,745	△1,819	△9,875	87,564	95,620
その他有価証券評価差額	38,888	4,428	1,991	34,460	36,897
退職給付信託設定益	2,789	△88	56	2,877	2,733
退職給付信託返還有価証券	2,685	—	—	2,685	2,685
固定資産圧縮積立金	467	—	—	467	467
連結納税に伴う時価評価損	754	△2	△2	756	756
その他	32	△2	△55	34	87
④繰延税金負債	45,617	4,336	1,990	41,281	43,627
⑤繰延税金資産の純額 ③－④	40,128	△6,155	△11,865	46,283	51,993

7 ROE

【FFG連結】

(単位:%)

	26年度中間期	前中間期比	25年度中間期
実質業務純益ベース (一般貸倒引当金繰入前)	8.78	△2.95	11.73
業務純益ベース	8.78	0.10	8.68
中間純利益ベース	6.21	△0.73	6.94

(注) 算式 $\frac{\text{(実質)業務純益または中間純利益}}{\text{(期首純資産+中間期末純資産)} \div 2} \times 365 \div 183$

8 ROA

【FFG連結】

(単位:%)

	26年度中間期	前中間期比	25年度中間期
実質業務純益ベース (一般貸倒引当金繰入前)	0.42	△0.18	0.60
業務純益ベース	0.42	△0.02	0.44
中間純利益ベース	0.30	△0.05	0.35

(注) 算式 $\frac{\text{(実質)業務純益または中間純利益}}{\text{(期首総資産(除く支払承諾見返)+中間期末総資産(除く支払承諾見返))} \div 2} \times 365 \div 183$

以下、福岡銀行、熊本銀行及び親和銀行においても同様であります。

【福岡銀行単体】

(単位:%)

	26年度中間期	前中間期比	25年度中間期
実質業務純益ベース (一般貸倒引当金繰入前)	0.55	△0.21	0.76
業務純益ベース	0.55	△0.09	0.64
中間純利益ベース	0.40	△0.16	0.56

【熊本銀行単体】

(単位:%)

	26年度中間期	前中間期比	25年度中間期
実質業務純益ベース (一般貸倒引当金繰入前)	0.43	0.01	0.42
業務純益ベース	0.43	0.38	0.05
中間純利益ベース	0.68	0.43	0.25

【親和銀行単体】

(単位:%)

	26年度中間期	前中間期比	25年度中間期
実質業務純益ベース (一般貸倒引当金繰入前)	0.29	△0.12	0.41
業務純益ベース	0.29	0.07	0.22
中間純利益ベース	0.24	0.08	0.16

9 役職員数

【FFG単体】

(単位:人)

	26年9月末	26/3末比	25/9末比	26年3月末	25年9月末
役員数	18	0	0	18	18
執行役員数	4	△2	△2	6	6
職員数	46	△1	△6	47	52
合計	68	△3	△8	71	76

(注)職員数は、専担者を記載しております。(子銀行との兼務者は除いております。)

【3行単体合算】

(単位:人)

	26年9月末	26/3末比	25/9末比	26年3月末	25年9月末
役員数	35	△2	△2	37	37
執行役員数	19	△1	△1	20	20
職員数	5,932	273	96	5,659	5,836
合計	5,986	270	93	5,716	5,893

【福岡銀行単体】

(単位:人)

	26年9月末	26/3末比	25/9末比	26年3月末	25年9月末
役員数	16	△1	△1	17	17
執行役員数	10	1	1	9	9
職員数	3,705	180	72	3,525	3,633
合計	3,731	180	72	3,551	3,659

(注)職員数は、行外への出向者を除き、行外から受け入れた出向者を含んでおります。また嘱託者及び海外現地採用者は除いております。以下、熊本銀行及び親和銀行についても同様であります。

【熊本銀行単体】

(単位:人)

	26年9月末	26/3末比	25/9末比	26年3月末	25年9月末
役員数	11	0	0	11	11
執行役員数	4	0	0	4	4
職員数	954	30	8	924	946
合計	969	30	8	939	961

【親和銀行単体】

(単位:人)

	26年9月末	26/3末比	25/9末比	26年3月末	25年9月末
役員数	10	△1	△1	11	11
執行役員数	5	△2	△2	7	7
職員数	1,273	63	16	1,210	1,257
合計	1,288	60	13	1,228	1,275

10 拠点数

【3行単体合算】

(単位:店)

	26年9月末	26/3末比	25/9末比	26年3月末	25年9月末
国内本支店(含む出張所)	328	0	1	328	327
福岡県	161	0	1	161	160
熊本県	64	0	0	64	64
長崎県	78	0	0	78	78
その他九州	18	0	0	18	18
九州外	7	0	0	7	7
海外駐在員事務所	6	0	0	6	6
合 計	334	0	1	334	333

【福岡銀行単体】

(単位:店)

	26年9月末	26/3末比	25/9末比	26年3月末	25年9月末
国内本支店(含む出張所)	170	0	1	170	169
福岡県	152	0	1	152	151
熊本県	1	0	0	1	1
長崎県	2	0	0	2	2
その他九州	9	0	0	9	9
九州外	6	0	0	6	6
海外駐在員事務所	6	0	0	6	6
合 計	176	0	1	176	175

【熊本銀行単体】

(単位:店)

	26年9月末	26/3末比	25/9末比	26年3月末	25年9月末
国内本支店(含む出張所)	70	0	0	70	70
福岡県	4	0	0	4	4
熊本県	63	0	0	63	63
長崎県	—	—	—	—	—
その他九州	3	0	0	3	3
九州外	—	—	—	—	—
海外駐在員事務所	—	—	—	—	—
合 計	70	0	0	70	70

【親和銀行単体】

(単位:店)

	26年9月末	26/3末比	25/9末比	26年3月末	25年9月末
国内本支店(含む出張所)	88	0	0	88	88
福岡県	5	0	0	5	5
熊本県	—	—	—	—	—
長崎県	76	0	0	76	76
その他九州	6	0	0	6	6
九州外	1	0	0	1	1
海外駐在員事務所	—	—	—	—	—
合 計	88	0	0	88	88

III 貸出金等の状況（部分直接償却後）

▶部分直接償却とは、自己査定により回収不能又は無価値資産と判定した担保・保証付債権等について、債権額から担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額を控除した残額(IV分類金額)を取立不能見込額として債権から直接減額することです。

1 リスク管理債権（銀行法ベース）の状況

※未収利息計上基準：破綻先・実質破綻先・破綻懸念先を一律不計上

【FFG連結】

(単位:百万円)

		26年9月末	26/3末比	25/9末比	26年3月末	25年9月末
リスク管理債権	破綻先債権	4,716	630	155	4,086	4,561
	延滞債権	167,237	△ 10,227	△ 17,149	177,464	184,386
	3カ月以上延滞債権	1,663	103	△ 1,267	1,560	2,930
	貸出条件緩和債権	61,862	1,509	7,067	60,353	54,795
	合計	235,479	△ 7,986	△ 11,194	243,465	246,673
部分直接償却額		26,902	△ 2,325	△ 5,680	29,227	32,582
貸出金残高(末残)		9,761,784	166,036	425,109	9,595,748	9,336,675

【福岡銀行単体】

(単位:百万円)

		26年9月末	26/3末比	25/9末比	26年3月末	25年9月末
リスク管理債権	破綻先債権	3,317	285	△ 176	3,032	3,493
	延滞債権	112,229	△ 4,461	△ 9,854	116,690	122,083
	3カ月以上延滞債権	1,594	285	△ 1,091	1,309	2,685
	貸出条件緩和債権	49,333	1,179	5,174	48,154	44,159
	合計	166,475	△ 2,712	△ 5,947	169,187	172,422
部分直接償却額		21,964	△ 2,743	△ 5,340	24,707	27,304
貸出金残高(末残)		7,410,919	165,646	374,230	7,245,273	7,036,689

【熊本銀行単体】

(単位:百万円)

		26年9月末	26/3末比	25/9末比	26年3月末	25年9月末
リスク管理債権	破綻先債権	472	△ 109	△ 8	581	480
	延滞債権	22,510	△ 440	△ 578	22,950	23,088
	3カ月以上延滞債権	7	△ 9	7	16	—
	貸出条件緩和債権	7,113	△ 100	756	7,213	6,357
	合計	30,103	△ 658	176	30,761	29,927
部分直接償却額		1,905	5	△ 125	1,900	2,030
貸出金残高(末残)		1,049,980	20,175	56,613	1,029,805	993,367

【親和銀行単体】

(単位:百万円)

		26年9月末	26/3末比	25/9末比	26年3月末	25年9月末
リスク管理債権	破綻先債権	925	452	338	473	587
	延滞債権	32,324	△ 5,313	△ 6,696	37,637	39,020
	3カ月以上延滞債権	61	△ 173	△ 184	234	245
	貸出条件緩和債権	5,415	430	1,137	4,985	4,278
	合計	38,727	△ 4,603	△ 5,403	43,330	44,130
部分直接償却額		2,925	420	△ 197	2,505	3,122
貸出金残高(末残)		1,400,127	△ 9,694	4,759	1,409,821	1,395,368

2 貸倒引当金の状況

<引当基準>

自己査定における区分		引当基準
正常先		対象債権残高に対し、今後1年間の予想損失率（※1）を使用し、一般引当を実施。
要注意先		対象債権残高に対し、今後3年間の予想損失率（※1）を使用し、一般引当を実施。
要管理先	DCF先（※2）	対象先の将来キャッシュ・フローの割引現在価値を見積もり、当該額を対象債権残高より控除した残額に対し一般引当を実施。
	一般先	対象債権残高に対し、今後3年間の予想損失率（※1）を使用し、一般引当を実施。
破綻懸念先	DCF先（※2）	対象先の将来キャッシュ・フローの割引現在価値を見積もり、当該額を対象債権残高より控除した残額に対し個別引当を実施。
	一般先	担保・保証で保全されていない部分に対し、今後3年間の予想損失率（※1）を使用し、個別引当を実施。
実質破綻先・破綻先		担保・保証で保全されていない部分に対し、100%の個別引当を実施。

（※1）予想損失率の算定は、倒産確率を使用しております。

（※2）DCF法対象先の選定基準は以下のとおりであります。

- ① 要管理先のうち債権額が一定額以上の先（その他要注意先の一部を含む、福岡銀行は債権額10億円以上、熊本銀行及び親和銀行は債権額5億円以上）。
- ② 破綻懸念先のうち債権額が一定額以上の先（福岡銀行は債権額5億円以上、熊本銀行及び親和銀行は債権額3億円以上）。
- ③ 福岡銀行については、上記①、②のグループ企業のうち、グループ企業自身も要管理先・破綻懸念先等で、かつ債権額5億円以上の先。
- ④ 上記①、②、③に基づきDCF法対象とした先が、その他要注意先に上方遷移した場合も原則、DCF法の対象とする。

【FFG連結】

（単位：百万円）

	26年9月末	26/3末比	25/9末比	26年3月末	25年9月末
貸倒引当金	149,371	△ 8,208	△ 6,807	157,579	156,178
一般貸倒引当金	82,904	△ 4,452	△ 1,816	87,356	84,720
個別貸倒引当金	66,466	△ 3,757	△ 4,992	70,223	71,458

【福岡銀行単体】

（単位：百万円）

	26年9月末	26/3末比	25/9末比	26年3月末	25年9月末
貸倒引当金	99,125	△ 5,058	△ 4,442	104,183	103,567
一般貸倒引当金	51,307	△ 3,638	△ 2,881	54,945	54,188
個別貸倒引当金	47,817	△ 1,421	△ 1,562	49,238	49,379

【熊本銀行単体】

（単位：百万円）

	26年9月末	26/3末比	25/9末比	26年3月末	25年9月末
貸倒引当金	16,359	△ 513	△ 291	16,872	16,650
一般貸倒引当金	10,061	△ 662	△ 226	10,723	10,287
個別貸倒引当金	6,297	149	△ 65	6,148	6,362

【親和銀行単体】

（単位：百万円）

	26年9月末	26/3末比	25/9末比	26年3月末	25年9月末
貸倒引当金	21,423	△ 2,649	△ 1,641	24,072	23,064
一般貸倒引当金	10,386	△ 71	1,746	10,457	8,640
個別貸倒引当金	11,037	△ 2,577	△ 3,386	13,614	14,423

3 リスク管理債権に対する保全状況

【F F G連結】

(単位:百万円)

	26年9月末	26/3末比	25/9末比	26年3月末	25年9月末
リスク管理債権額 (A)	235,479	△ 7,986	△ 11,194	243,465	246,673
保全等カバー	183,422	△ 6,967	△ 11,201	190,389	194,623
貸倒引当金 (B)	77,179	△ 5,056	△ 4,876	82,235	82,055
担保・保証等 (C)	106,242	△ 1,911	△ 6,326	108,153	112,568
保全率 (B+C)/A	77.89%	△0.30%	△1.00%	78.19%	78.89%
貸倒引当金 (B/A)	32.77%	△1.00%	△0.49%	33.77%	33.26%
担保・保証等 (C/A)	45.11%	0.69%	△0.52%	44.42%	45.63%

【福岡銀行単体】

(単位:百万円)

	26年9月末	26/3末比	25/9末比	26年3月末	25年9月末
リスク管理債権額 (A)	166,475	△ 2,712	△ 5,947	169,187	172,422
保全等カバー	127,846	△ 2,180	△ 5,966	130,026	133,812
貸倒引当金 (B)	57,839	△ 2,553	△ 1,794	60,392	59,633
担保・保証等 (C)	70,006	372	△ 4,173	69,634	74,179
保全率 (B+C)/A	76.79%	△0.06%	△0.81%	76.85%	77.60%
貸倒引当金 (B/A)	34.74%	△0.95%	0.16%	35.69%	34.58%
担保・保証等 (C/A)	42.05%	0.90%	△0.97%	41.15%	43.02%

【熊本銀行単体】

(単位:百万円)

	26年9月末	26/3末比	25/9末比	26年3月末	25年9月末
リスク管理債権額 (A)	30,103	△ 658	176	30,761	29,927
保全等カバー	23,167	△ 617	△ 45	23,784	23,212
貸倒引当金 (B)	7,526	80	141	7,446	7,385
担保・保証等 (C)	15,640	△ 697	△ 186	16,337	15,826
保全率 (B+C)/A	76.95%	△0.36%	△0.61%	77.31%	77.56%
貸倒引当金 (B/A)	25.00%	0.80%	0.33%	24.20%	24.67%
担保・保証等 (C/A)	51.95%	△1.15%	△0.93%	53.10%	52.88%

【親和銀行単体】

(単位:百万円)

	26年9月末	26/3末比	25/9末比	26年3月末	25年9月末
リスク管理債権額 (A)	38,727	△ 4,603	△ 5,403	43,330	44,130
保全等カバー	32,238	△ 4,157	△ 5,170	36,395	37,408
貸倒引当金 (B)	11,807	△ 2,582	△ 3,221	14,389	15,028
担保・保証等 (C)	20,431	△ 1,574	△ 1,948	22,005	22,379
保全率 (B+C)/A	83.24%	△0.75%	△1.52%	83.99%	84.76%
貸倒引当金 (B/A)	30.48%	△2.72%	△3.57%	33.20%	34.05%
担保・保証等 (C/A)	52.75%	1.97%	2.04%	50.78%	50.71%

4 金融再生法開示債権の状況

※金融再生法開示債権残高及び総与信残高には自行保証付私募債を含んでおります。

【FFG連結】

(単位:百万円)

	26年9月末	26/3末比	25/9末比	26年3月末	25年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	26,915	718	6,296	26,197	20,619
危険債権	148,343	△ 10,326	△ 23,493	158,669	171,836
要管理債権	63,525	1,611	5,799	61,914	57,726
合計(金融再生法開示債権)	238,784	△ 7,997	△ 11,398	246,781	250,182
正常債権	9,623,854	178,066	447,262	9,445,788	9,176,592
総与信残高	9,862,638	170,069	435,863	9,692,569	9,426,775
部分直接償却額	31,011	△ 2,557	△ 5,850	33,568	36,861

【福岡銀行単体】

(単位:百万円)

	26年9月末	26/3末比	25/9末比	26年3月末	25年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	17,919	1,064	5,624	16,855	12,295
危険債権	98,089	△ 5,314	△ 15,757	103,403	113,846
要管理債権	50,927	1,464	4,082	49,463	46,845
合計(金融再生法開示債権)	166,936	△ 2,787	△ 6,050	169,723	172,986
正常債権	7,314,615	170,886	388,088	7,143,729	6,926,527
要管理債権以外の要注意先債権	806,451	△ 7,010	72,241	813,461	734,210
正常先債権	6,508,163	177,895	315,846	6,330,268	6,192,317
総与信残高	7,481,551	168,098	382,037	7,313,453	7,099,514
部分直接償却額	22,486	△ 2,788	△ 5,402	25,274	27,888

【熊本銀行単体】

(単位:百万円)

	26年9月末	26/3末比	25/9末比	26年3月末	25年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,890	346	190	2,544	2,700
危険債権	20,323	△ 869	△ 732	21,192	21,055
要管理債権	7,120	△ 109	763	7,229	6,357
合計(金融再生法開示債権)	30,334	△ 632	220	30,966	30,114
正常債権	1,030,690	21,235	57,378	1,009,455	973,312
要管理債権以外の要注意先債権	155,688	△ 1,445	4,871	157,133	150,817
正常先債権	875,001	22,680	52,506	852,321	822,495
総与信残高	1,061,025	20,603	57,598	1,040,422	1,003,427
部分直接償却額	2,232	△ 48	△ 241	2,280	2,473

【親和銀行単体】

(単位:百万円)

	26年9月末	26/3末比	25/9末比	26年3月末	25年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,648	△ 796	535	4,444	3,113
危険債権	29,790	△ 4,137	△ 6,993	33,927	36,783
要管理債権	5,477	257	954	5,220	4,523
合計(金融再生法開示債権)	38,915	△ 4,677	△ 5,505	43,592	44,420
正常債権	1,373,533	△ 3,958	11,922	1,377,491	1,361,611
要管理債権以外の要注意先債権	181,095	3,289	23,929	177,806	157,166
正常先債権	1,192,437	△ 7,248	△ 12,008	1,199,685	1,204,445
総与信残高	1,412,448	△ 8,635	6,417	1,421,083	1,406,031
部分直接償却額	3,031	363	△ 244	2,668	3,275

5 金融再生法開示債権の保全状況

(1) 総括

【FFG連結】

(単位:百万円)

	債権額		保全・引当状況	引当率(※)
		保全率		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	26,915	100.00%	保全アンカパー 9,750 (個別貸倒引当金) (9,750) 担保・保証による保全 17,164	100.00%
危険債権	148,343	87.73%	保全アンカパー 74,336 (個別貸倒引当金) (56,137) 担保・保証による保全 74,006	75.51%
要管理債権	63,525	46.49%	保全アンカパー 46,894 (一般貸倒引当金) (12,906) 担保・保証による保全 16,630	27.52%
開示債権計	238,784	78.14%	保全アンカパー部分に対する引当率	60.15%
正常債権	9,623,854			
合計	9,862,638			

※引当率とは、保全アンカパー部分に対する貸倒引当金の計上割合。以下、福岡銀行、熊本銀行及び親和銀行においても同様であります。

【福岡銀行単体】

(単位:百万円)

	債権額		保全・引当状況	引当率
		保全率		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	17,919	100.00%	保全アンカパー 7,115 (個別貸倒引当金) (7,115) 担保・保証による保全 10,804	100.00%
危険債権	98,089	88.40%	保全アンカパー 51,631 (個別貸倒引当金) (40,257) 担保・保証による保全 46,457	77.97%
要管理債権	50,927	46.41%	保全アンカパー 37,873 (一般貸倒引当金) (10,585) 担保・保証による保全 13,053	27.94%
開示債権計	166,936	76.83%	保全アンカパー部分に対する引当率	59.98%
正常債権	7,314,615			
合計	7,481,551			

【熊本銀行単体】

(単位:百万円)

	債権額		保全・引当状況	引当率
		保全率		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,890	100.00%	保全アンカパー 613 (個別貸倒引当金) (613) 担保・保証による保全 2,276	100.00%
危険債権	20,323	83.62%	保全アンカパー 9,007 (個別貸倒引当金) (5,678) 担保・保証による保全 11,316	63.04%
要管理債権	7,120	48.90%	保全アンカパー 4,984 (一般貸倒引当金) (1,346) 担保・保証による保全 2,136	27.00%
開示債権計	30,334	77.03%	保全アンカパー部分に対する引当率	52.29%
正常債権	1,030,690			
合計	1,061,025			

【親和銀行単体】

(単位:百万円)

	債権額		保全・引当状況	引当率
		保全率		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,648	100.00%	保全アンカパー 725 (個別貸倒引当金) (725) 担保・保証による保全 2,922	100.00%
危険債権	29,790	88.27%	保全アンカパー 13,681 (個別貸倒引当金) (10,187) 担保・保証による保全 16,108	74.46%
要管理債権	5,477	44.10%	保全アンカパー 4,036 (一般貸倒引当金) (974) 担保・保証による保全 1,440	24.15%
開示債権計	38,915	83.15%	保全アンカパー部分に対する引当率	64.45%
正常債権	1,373,533			
合計	1,412,448			

(2) 保全内訳

【FFG連結】

■平成26年9月末

(単位:百万円)

	債権額	保全等カバー	引当金	担保・保証等	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	26,915	26,915	9,750	17,164	100.00%
危険債権	148,343	130,143	56,137	74,006	87.73%
要管理債権	63,525	29,537	12,906	16,630	46.49%
合計	238,784	186,596	78,794	107,801	78.14%

■平成26年3月末

(単位:百万円)

	債権額	保全等カバー	引当金	担保・保証等	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	26,197	26,197	9,767	16,429	100.00%
危険債権	158,669	138,342	59,867	78,475	87.18%
要管理債権	61,914	29,021	14,159	14,861	46.87%
合計	246,781	193,561	83,795	109,766	78.43%

■平成26年3月末対比増減

(単位:百万円)

	債権額	保全等カバー	引当金	担保・保証等	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	718	718	△ 17	735	0.00%
危険債権	△ 10,326	△ 8,199	△ 3,730	△ 4,469	0.55%
要管理債権	1,611	516	△ 1,253	1,769	△ 0.38%
合計	△ 7,997	△ 6,965	△ 5,001	△ 1,965	△ 0.29%

【福岡銀行単体】

■平成26年9月末

(単位:百万円)

	債権額	保全等カバー	引当金	担保・保証等	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	17,919	17,919	7,115	10,804	100.00%
危険債権	98,089	86,715	40,257	46,457	88.40%
要管理債権	50,927	23,639	10,585	13,053	46.41%
合計	166,936	128,273	57,958	70,315	76.83%

■平成26年3月末

(単位:百万円)

	債権額	保全等カバー	引当金	担保・保証等	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	16,855	16,855	6,553	10,302	100.00%
危険債権	103,403	90,739	42,232	48,507	87.75%
要管理債権	49,463	22,942	11,761	11,181	46.38%
合計	169,723	130,538	60,547	69,990	76.91%

■平成26年3月末対比増減

(単位:百万円)

	債権額	保全等カバー	引当金	担保・保証等	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,064	1,064	562	502	0.00%
危険債権	△ 5,314	△ 4,024	△ 1,975	△ 2,050	0.65%
要管理債権	1,464	697	△ 1,176	1,872	0.03%
合計	△ 2,787	△ 2,265	△ 2,589	325	△ 0.08%

【熊本銀行単体】

■平成26年9月末

(単位:百万円)

	債権額	保全等カバー	引当金	担保・保証等	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,890	2,890	613	2,276	100.00%
危険債権	20,323	16,994	5,678	11,316	83.62%
要管理債権	7,120	3,482	1,346	2,136	48.90%
合計	30,334	23,367	7,638	15,728	77.03%

■平成26年3月末

(単位:百万円)

	債権額	保全等カバー	引当金	担保・保証等	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,544	2,544	548	1,996	100.00%
危険債権	21,192	17,743	5,596	12,147	83.72%
要管理債権	7,229	3,654	1,410	2,243	50.54%
合計	30,966	23,942	7,555	16,386	77.31%

■平成26年3月末対比増減

(単位:百万円)

	債権額	保全等カバー	引当金	担保・保証等	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	346	346	65	280	0.00%
危険債権	△ 869	△ 749	82	△ 831	△0.10%
要管理債権	△ 109	△ 172	△ 64	△ 107	△1.64%
合計	△ 632	△ 575	83	△ 658	△0.28%

【親和銀行単体】

■平成26年9月末

(単位:百万円)

	債権額	保全等カバー	引当金	担保・保証等	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,648	3,648	725	2,922	100.00%
危険債権	29,790	26,296	10,187	16,108	88.27%
要管理債権	5,477	2,415	974	1,440	44.10%
合計	38,915	32,360	11,887	20,472	83.15%

■平成26年3月末

(単位:百万円)

	債権額	保全等カバー	引当金	担保・保証等	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,444	4,444	1,463	2,981	100.00%
危険債権	33,927	29,716	12,024	17,691	87.58%
要管理債権	5,220	2,424	987	1,436	46.44%
合計	43,592	36,584	14,474	22,109	83.92%

■平成26年3月末対比増減

(単位:百万円)

	債権額	保全等カバー	引当金	担保・保証等	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	△ 796	△ 796	△ 738	△ 59	0.00%
危険債権	△ 4,137	△ 3,420	△ 1,837	△ 1,583	0.69%
要管理債権	257	△ 9	△ 13	4	△2.34%
合計	△ 4,677	△ 4,224	△ 2,587	△ 1,637	△0.77%

6 子銀行における自己査定状況

【福岡銀行単体】

自己査定結果及び分類額

対象：貸出金＋その他の債権(注1)

金融再生法基準に基づく開示債権	
部分直接償却実施前 (参考)	部分直接償却実施後

対象：貸出金＋その他の債権(注1)

(単位：百万円)

銀行法基準
リスク管理債権

対象：貸出金のみ

債務者区分	分類額			
	非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類
破綻先 3,382	693	2,688	— (279)	— (209)
実質破綻先 14,537	8,302	6,234	— (1,379)	— (5,247)
破綻懸念先 97,925	64,102	22,449	11,374 (40,257)	
要注意先 856,743	要管理先 63,471	7,196	56,274	
	要管理先以外の 要注意先 793,272	126,088	667,184	
正常先 6,494,742	6,494,742			
合計 7,467,330	6,701,125	754,831	11,374	—
債権総額に占める割合	89.7%	10.1%	0.2%	—

開示区分 ＜与信残高＞
破産更生債権及びこれらに準ずる債権 39,906
危険債権 98,589
要管理債権 50,927
小計 189,423
正常債権 7,314,615
合計 7,504,038

開示区分 ＜与信残高＞
破産更生債権及びこれらに準ずる債権 17,919 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;"> 保全率 100.00% </div> 部分直接償却額 21,986
危険債権 98,089 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;"> 保全率 88.40% </div> 部分直接償却額 500
要管理債権 50,927 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;"> 保全率 46.41% </div>
小計 166,936
正常債権 7,314,615
合計 7,481,551

開示区分 ＜貸出金残高＞
破綻先債権 3,317
延滞債権 112,229
3カ月以上延滞債権 1,594
貸出条件緩和債権 49,333
合計 166,475

(注1) その他の債権：外国為替、未收利息、支払承諾見返、仮払金等。なお、金融再生法開示債権残高及び総与信残高には自行保証付私募債を含んでおります。

(注2) 自己査定結果における()は分類額に対する引当金残高です。破綻先・実質破綻先のⅢ・Ⅳ分類は全額引当済みです。

(注3) 要注意先については、当該先の与信残高から保証協会保証・預金担保等(優良担保・保証)を控除した額をすべてⅡ分類としております。

【熊本銀行単体】

自己査定結果及び分類額

対象: 貸出金+その他の債権(注1)

金融再生法基準に基づく開示債権	
部分直接償却実施前 (参考)	部分直接償却実施後

対象: 貸出金+その他の債権(注1)

銀行法基準
リスク管理債権

対象: 貸出金のみ

債務者区分	分類額			
	非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類
破綻先 495	362	133	— (44)	— (200)
実質破綻先 2,394	1,215	1,178	— (203)	— (165)
破綻懸念先 20,277	11,672	5,276	3,328 (5,678)	
要注意先 162,643	要管理先 10,177	926	9,250	
	要管理先以外の 要注意先 152,466	38,783	113,682	
正常先 869,338	869,338			
合計 1,055,149	922,299	129,521	3,328	—
債権総額に占める割合	87.4%	12.3%	0.3%	—

開示区分 <与信残高>
破産更生債権及び これらに準ずる債権 5,104
危険債権 20,341
要管理債権 7,120
小計 32,567
正常債権 1,030,690
合計 1,063,257

開示区分 <与信残高>
破産更生債権及び これらに準ずる債権 2,890 保全率 100.00%
部分直接償却額 2,214
危険債権 20,323 保全率 83.62%
部分直接償却額 17
要管理債権 7,120 保全率 48.90%
小計 30,334
正常債権 1,030,690
合計 1,061,025

開示区分 <貸出金残高>
破綻先債権 472
延滞債権 22,510
3か月以上 延滞債権 7
貸出条件 緩和債権 7,113
合計 30,103

(注1) その他の債権: 外国為替、未收利息、支払承諾見返、仮払金等。なお、金融再生法開示債権残高及び総与信残高には自行保証付私募債を含んでおります。

(注2) 自己査定結果における()は分類額に対する引当金残高です。破綻先・実質破綻先のⅢ・Ⅳ分類は全額引当済みです。

(注3) 要注意先については、当該先の与信残高から保証協会保証・預金担保等(優良担保・保証)を控除した額をすべてⅡ分類としております。

【親和銀行単体】

自己査定結果及び分類額

対象: 貸出金+その他の債権(注1)

金融再生法基準に基づく開示債権	
部分直接償却実施前 (参考)	部分直接償却実施後

対象: 貸出金+その他の債権(注1)

(単位: 百万円)

銀行法基準
リスク管理債権

対象: 貸出金のみ

債務者区分	分類額			
	非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類
破綻先 930	241	688	— (157)	— (1)
実質破綻先 2,717	843	1,873	— (224)	— (341)
破綻懸念先 29,790	19,124	7,171	3,493 (10,187)	
要注意先 186,314	要管理先 7,403	961	6,442	
	要管理先以外の 要注意先 178,910	41,129	137,780	
正常先 1,189,520	1,189,520			
合計 1,409,273	1,251,821	153,957	3,493	—
債権総額に占める割合	88.8%	10.9%	0.3%	—

開示区分 <与信残高>
破産更生債権及び これらに準ずる債権 6,603
危険債権 29,865
要管理債権 5,477
小計 41,946
正常債権 1,373,533
合計 1,415,479

開示区分 <与信残高>
破産更生債権及び これらに準ずる債権 3,648 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 2px auto;"> 保全率 100.00% </div> 部分直接償却額 2,955
危険債権 29,790 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 2px auto;"> 保全率 88.27% </div> 部分直接償却額 75
要管理債権 5,477 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 2px auto;"> 保全率 44.10% </div>
小計 38,915
正常債権 1,373,533
合計 1,412,448

開示区分 <貸出金残高>
破綻先債権 925
延滞債権 32,324
3か月以上 延滞債権 61
貸出条件 緩和債権 5,415
合計 38,727

(注1) その他の債権: 外国為替、未收利息、支払承諾見返、仮払金等。なお、金融再生法開示債権残高及び総与信残高には自行保証付私募債を含んでおります。

(注2) 自己査定結果における()は分類額に対する引当金残高です。破綻先・実質破綻先のⅢ・Ⅳ分類は全額引当済みです。

(注3) 要注意先については、当該先の与信残高から保証協会保証・預金担保等(優良担保・保証)を控除した額をすべてⅡ分類としております。

7 業種別貸出金状況等

(1) 業種別貸出金

(単位: 億円)

	26年9月末								26年3月末比			
	3行単体合算		福岡	構成比	熊本	構成比	親和	構成比	3行合算	福岡	熊本	親和
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	98,610	100.0%	74,109	100.0%	10,499	100.0%	14,001	100.0%	1,762	1,657	201	△97
製造業	6,991	7.1%	5,221	7.0%	551	5.2%	1,218	8.7%	△140	△80	3	△64
農業・林業	230	0.2%	146	0.2%	55	0.5%	28	0.2%	18	17	0	△0
漁業	195	0.2%	128	0.2%	19	0.2%	46	0.3%	16	14	3	△1
鉱業・採石業・砂利採取業	107	0.1%	58	0.1%	6	0.1%	42	0.3%	△12	△3	△5	△4
建設業	2,527	2.6%	1,574	2.1%	435	4.1%	516	3.7%	△129	△46	△18	△67
電気・ガス・熱供給・水道業	1,653	1.7%	1,411	1.9%	69	0.7%	171	1.2%	△23	△16	7	△16
情報通信業	668	0.7%	519	0.7%	49	0.5%	99	0.7%	△42	△27	△7	△9
運輸業・郵便業	4,404	4.5%	3,884	5.2%	155	1.5%	364	2.6%	103	118	△3	△12
卸売業・小売業	10,689	10.8%	8,576	11.6%	891	8.5%	1,220	8.7%	127	163	17	△54
金融業・保険業	4,230	4.3%	3,778	5.1%	80	0.8%	364	2.6%	128	130	△10	6
不動産業・物品賃貸業	18,072	18.3%	13,898	18.7%	1,997	19.0%	2,175	15.6%	981	866	8	106
うち不動産業	16,152	16.4%	12,420	16.8%	1,871	17.8%	1,861	13.3%	916	819	3	95
その他各種サービス業	9,784	9.9%	6,711	9.1%	1,446	13.8%	1,626	11.6%	241	229	△16	28
地方公共団体	10,792	10.9%	8,060	10.9%	946	9.0%	1,785	12.8%	△2	△56	102	△48
その他	28,263	28.7%	20,137	27.2%	3,786	36.1%	4,339	31.0%	500	346	117	36

(注) 金融業・保険業向け貸出金には、福岡銀行のふくおかファイナンシャルグループ向け貸出金(26年9月末 93,000百万円、26年3月末 90,000百万円)を含んでおります。

(2) 業種別リスク管理債権

(単位: 億円)

	26年9月末								26年3月末比			
	3行単体合算		福岡	構成比	熊本	構成比	親和	構成比	3行合算	福岡	熊本	親和
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	2,353	100.0%	1,664	100.0%	301	100.0%	387	100.0%	△79	△27	△6	△46
製造業	279	11.9%	199	12.0%	21	7.2%	58	15.1%	△17	△12	△3	△3
農業・林業	28	1.2%	23	1.4%	4	1.4%	0	0.2%	0	△0	1	△1
漁業	8	0.4%	7	0.4%	1	0.4%	0	0.1%	△4	2	△0	△5
鉱業・採石業・砂利採取業	11	0.5%	4	0.3%	0	0.3%	6	1.6%	△0	△0	△0	△0
建設業	145	6.2%	88	5.3%	13	4.6%	42	11.0%	△21	△9	△2	△11
電気・ガス・熱供給・水道業	20	0.8%	20	1.2%	0	0.0%	—	—	△1	△1	△0	—
情報通信業	12	0.5%	4	0.3%	3	1.2%	3	1.0%	△10	△11	△0	△0
運輸業・郵便業	119	5.1%	95	5.7%	5	1.7%	18	4.9%	△7	△2	△0	△5
卸売業・小売業	502	21.4%	352	21.2%	64	21.4%	86	22.3%	△11	7	△4	△14
金融業・保険業	44	1.9%	41	2.5%	2	0.9%	—	—	△0	△0	△0	—
不動産業・物品賃貸業	418	17.8%	289	17.4%	74	24.7%	54	14.2%	△23	△21	1	△3
うち不動産業	417	17.7%	288	17.3%	74	24.7%	54	14.2%	△23	△21	1	△3
その他各種サービス業	543	23.1%	403	24.2%	72	24.1%	67	17.5%	19	19	3	△4
地方公共団体	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	217	9.2%	134	8.1%	36	12.1%	46	12.1%	△4	△0	△2	△2

(3) 業種別金融再生法開示債権

(単位: 億円)

	26年9月末								26年3月末比			
	3行単体合算		福岡	構成比	熊本	構成比	親和	構成比	3行合算	福岡	熊本	親和
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	2,362	100.0%	1,669	100.0%	303	100.0%	389	100.0%	△81	△28	△6	△47
製造業	281	11.9%	201	12.0%	22	7.2%	59	15.1%	△17	△11	△3	△3
農業・林業	30	1.3%	24	1.4%	4	1.4%	2	0.5%	0	△0	1	△0
漁業	9	0.4%	7	0.4%	1	0.4%	0	0.1%	△4	2	△0	△5
鉱業・採石業・砂利採取業	11	0.5%	4	0.3%	1	0.3%	6	1.6%	△0	△0	△0	△0
建設業	146	6.2%	90	5.4%	14	4.5%	42	10.9%	△22	△9	△2	△11
電気・ガス・熱供給・水道業	20	0.8%	20	1.2%	0	0.1%	—	—	△1	△1	△0	—
情報通信業	12	0.5%	5	0.3%	4	1.2%	4	1.0%	△11	△11	△0	△0
運輸業・郵便業	120	5.1%	96	5.7%	5	1.7%	19	4.9%	△8	△2	△0	△5
卸売業・小売業	505	21.4%	353	21.2%	65	21.5%	86	22.2%	△11	7	△4	△14
金融業・保険業	45	1.9%	42	2.5%	3	1.1%	—	—	△0	△0	△0	—
不動産業・物品賃貸業	419	17.7%	290	17.4%	74	24.5%	55	14.1%	△23	△21	0	△3
うち不動産業	418	17.7%	288	17.3%	74	24.5%	55	14.1%	△23	△21	0	△3
その他各種サービス業	546	23.1%	404	24.2%	73	24.1%	68	17.5%	19	19	4	△3
地方公共団体	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	218	9.2%	134	8.0%	36	12.0%	47	12.1%	△4	△0	△2	△2

8 不良債権のオフバランス化実績

(1) 金融再生法開示債権について

ア. 債権残高の増減

【3行単体合算】

	26年3月末 (A)	26年9月末		
		既存分(B)	新規発生分(C)	合計(D)=(B)+(C)
金融再生法開示債権	2,443	2,157	204	2,362

(注)新規発生分は26年度中間期に初めて開示債権となった先

(単位:億円)

既存分のオフバランス化 (B)-(A)	債権残高の増減 (D)-(A)
△ 285	△ 81

【福岡銀行単体】

	26年3月末 (A)	26年9月末		
		既存分(B)	新規発生分(C)	合計(D)=(B)+(C)
金融再生法開示債権	1,697	1,519	150	1,669

(注)新規発生分は26年度中間期に初めて開示債権となった先

(単位:億円)

既存分のオフバランス化 (B)-(A)	債権残高の増減 (D)-(A)
△ 178	△ 28

【熊本銀行単体】

	26年3月末 (A)	26年9月末		
		既存分(B)	新規発生分(C)	合計(D)=(B)+(C)
金融再生法開示債権	310	271	32	303

(注)新規発生分は26年度中間期に初めて開示債権となった先

(単位:億円)

既存分のオフバランス化 (B)-(A)	債権残高の増減 (D)-(A)
△ 38	△ 6

【親和銀行単体】

	26年3月末 (A)	26年9月末		
		既存分(B)	新規発生分(C)	合計(D)=(B)+(C)
金融再生法開示債権	436	367	22	389

(注)新規発生分は26年度中間期に初めて開示債権となった先

(単位:億円)

既存分のオフバランス化 (B)-(A)	債権残高の増減 (D)-(A)
△ 69	△ 47

イ. オフバランス化の内訳

【3行単体合算】

<内訳> (単位:億円)

ア 債権流動化	△ 3
イ 直接償却	△ 34
ウ 清算型処理	—
エ 再建型処理	—
オ 回収・返済	△ 155
小計	△ 192
カ 業況改善	△ 93
合計	△ 285

- ア 債権売却 (再生ファンドへの売却・バルクセール等)
- イ 部分直接償却実施額
- ウ 清算型倒産手続 (破産・特別清算) による債権切捨て・債権償却
- エ 再建型倒産手続 (会社更生・民事再生・会社整理) による債権切捨て、私的整理による債権放棄等
- オ 回収、返済等
- カ 債務者の業況改善等

【福岡銀行単体】

<内訳> (単位:億円)

ア 債権流動化	△ 2
イ 直接償却	△ 21
ウ 清算型処理	—
エ 再建型処理	—
オ 回収・返済	△ 84
小計	△ 108
カ 業況改善	△ 71
合計	△ 178

【熊本銀行単体】

<内訳> (単位:億円)

ア 債権流動化	—
イ 直接償却	△ 2
ウ 清算型処理	—
エ 再建型処理	—
オ 回収・返済	△ 33
小計	△ 35
カ 業況改善	△ 3
合計	△ 38

【親和銀行単体】

<内訳> (単位:億円)

ア 債権流動化	△ 1
イ 直接償却	△ 10
ウ 清算型処理	—
エ 再建型処理	—
オ 回収・返済	△ 38
小計	△ 49
カ 業況改善	△ 20
合計	△ 69

(2) 破綻懸念先以下の債権について

ア. 債権残高の増減

【3行単体合算】

	26年3月末 (A)	26年9月末		
		既存分(B)	新規発生分(C)	合計(D)=(B)+(C)
破産更生等債権および危険債権	1,824	1,597	129	1,727

(注)新規発生分は26年度中間期に初めて破綻懸念以下となった先

(単位:億円)

既存分のオフバランス化 (B)-(A)	債権残高の増減 (D)-(A)
△ 226	△ 97

【福岡銀行単体】

	26年3月末 (A)	26年9月末		
		既存分(B)	新規発生分(C)	合計(D)=(B)+(C)
破産更生等債権および危険債権	1,203	1,065	95	1,160

(注)新規発生分は26年度中間期に初めて破綻懸念以下となった先

(単位:億円)

既存分のオフバランス化 (B)-(A)	債権残高の増減 (D)-(A)
△ 137	△ 43

【熊本銀行単体】

	26年3月末 (A)	26年9月末		
		既存分(B)	新規発生分(C)	合計(D)=(B)+(C)
破産更生等債権および危険債権	237	211	21	232

(注)新規発生分は26年度中間期に初めて破綻懸念以下となった先

(単位:億円)

既存分のオフバランス化 (B)-(A)	債権残高の増減 (D)-(A)
△ 26	△ 5

【親和銀行単体】

	26年3月末 (A)	26年9月末		
		既存分(B)	新規発生分(C)	合計(D)=(B)+(C)
破産更生等債権および危険債権	384	321	14	334

(注)新規発生分は26年度中間期に初めて破綻懸念以下となった先

(単位:億円)

既存分のオフバランス化 (B)-(A)	債権残高の増減 (D)-(A)
△ 63	△ 49

イ. オフバランス化の内訳

【3行単体合算】

<内訳> (単位:億円)

ア 債権流動化	△ 3
イ 直接償却	△ 34
ウ 清算型処理	—
エ 再建型処理	—
オ 回収・返済	△ 128
小計	△ 164
カ 業況改善	△ 62
合計	△ 226

- ア 債権売却 (再生ファンドへの売却・バルクセール等)
- イ 部分直接償却実施額
- ウ 清算型倒産手続 (破産・特別清算) による債権切捨て・債権償却
- エ 再建型倒産手続 (会社更生・民事再生・会社整理) による債権切捨て、私的整理による債権放棄等
- オ 回収、返済等
- カ 債務者の業況改善等

【福岡銀行単体】

<内訳> (単位:億円)

ア 債権流動化	△ 2
イ 直接償却	△ 21
ウ 清算型処理	—
エ 再建型処理	—
オ 回収・返済	△ 72
小計	△ 96
カ 業況改善	△ 41
合計	△ 137

【熊本銀行単体】

<内訳> (単位:億円)

ア 債権流動化	—
イ 直接償却	△ 2
ウ 清算型処理	—
エ 再建型処理	—
オ 回収・返済	△ 21
小計	△ 24
カ 業況改善	△ 3
合計	△ 26

【親和銀行単体】

<内訳> (単位:億円)

ア 債権流動化	△ 1
イ 直接償却	△ 10
ウ 清算型処理	—
エ 再建型処理	—
オ 回収・返済	△ 34
小計	△ 45
カ 業況改善	△ 18
合計	△ 63

9 中小企業等貸出金残高・比率

【3行単体合算】

(単位:百万円)

	26年9月末				26年3月末	25年9月末
	年率		26/3末比	25/9末比		
中小企業等貸出金残高	6.4%	7,058,284	170,454	425,064	6,887,830	6,633,220
中小企業等貸出金比率	—	71.57%	0.46%	1.20%	71.11%	70.37%

(注) 中小企業等貸出金残高は、特別国際金融取引勘定を除く。
以下、福岡銀行、熊本銀行及び親和銀行においても同様であります。

【福岡銀行単体】

(単位:百万円)

	26年9月末				26年3月末	25年9月末
	年率		26/3末比	25/9末比		
中小企業等貸出金残高	7.1%	5,177,322	159,469	343,789	5,017,853	4,833,533
中小企業等貸出金比率	—	69.86%	0.61%	1.17%	69.25%	68.69%

【熊本銀行単体】

(単位:百万円)

	26年9月末				26年3月末	25年9月末
	年率		26/3末比	25/9末比		
中小企業等貸出金残高	5.8%	880,212	12,807	48,077	867,405	832,135
中小企業等貸出金比率	—	83.83%	△0.39%	0.07%	84.22%	83.76%

【親和銀行単体】

(単位:百万円)

	26年9月末				26年3月末	25年9月末
	年率		26/3末比	25/9末比		
中小企業等貸出金残高	3.4%	1,000,749	△1,823	33,198	1,002,572	967,551
中小企業等貸出金比率	—	71.47%	0.36%	2.13%	71.11%	69.34%